Canon

BCTV Zoom Lens

UHD XS LENSES

CJ15ex4.3B
CJ20ex5B
CJ20ex7.8B
CJ25ex7.6B

UHD GC LENSES

CJ14ex4.3B
CJ17ex6.2B
CJ18ex7.6B
CJ18ex28B
CJ24ex7.5B

HD GC LENSES

KJ10ex4.5B
KJ17ex7.7B II
KJ22ex7.6B II

取扱説明書「レンズ」

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

JPN

memo

ー はじめに ー

このたびはキヤノンBCTVズームレンズをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
本製品の取扱説明書は以下の内容で構成され、下記の製品モデルに適用されます。

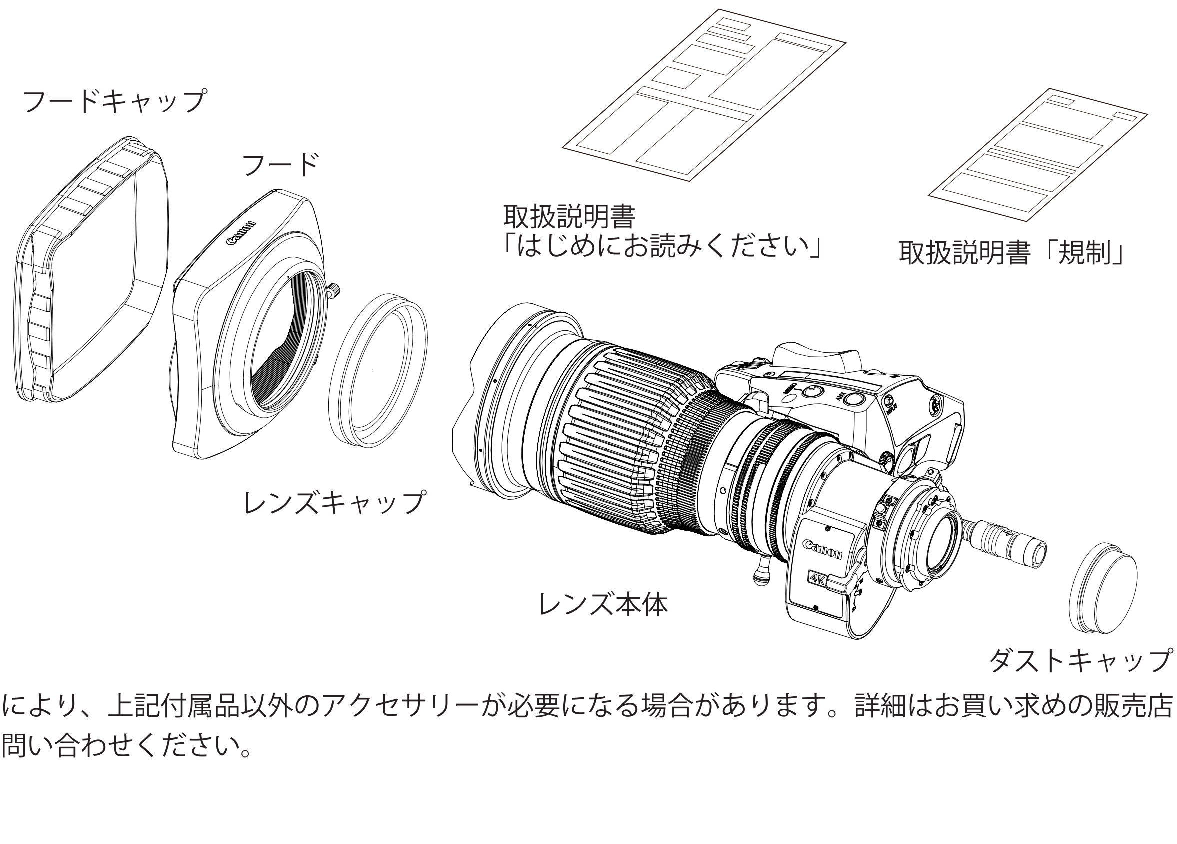
- 取扱説明書「はじめにお読みください」（製品同梱）
- 取扱説明書「規制」（製品同梱）
- 取扱説明書「レンズ」（Web）
- 取扱説明書「情報ディスプレイ」（Web）
- クイックガイド「情報ディスプレイ」（Web）

		IASE S	IRSE S	IASE-C S	IRSE-C S	IASE II S	IRSE II S	KASE S
UHDxs LENSES	CJ15ex4.3B	●	●	●	●			
	CJ20ex5B	●	●	●	●			
	CJ20ex7.8B	●		●				
	CJ25ex7.6B	●	●	●	●			
UHDGC LENSES	CJ14ex4.3B	●	●	●	●			
	CJ17ex6.2B	●	●	●	●			
	CJ18ex7.6B	●	●	●	●			●
	CJ18ex28B	●		●				
	CJ24ex7.5B	●	●	●	●			
HDGC LENSES	KJ10ex4.5B	●	●					
	KJ17ex7.7B					●	●	
	KJ22ex7.6B					●	●	

この取扱説明書に記載されているイラストは一例です。
形状は機種および仕様により一部異なります。

標準商品構成

ご使用を始める前に以下のものがすべてそろっていることをご確認ください。不足品がある場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。



仕様により、上記付属品以外のアクセサリーが必要になる場合があります。詳細はお買い求めの販売店にお問い合わせください。

安全にお使いいただくために

製品および取扱説明書に記載されている安全に関する警告や注意事項は、必ず守ってください。
これら危険防止の警告や注意事項にそった取扱いをしない場合、けがや事故に至る可能性があります。この取扱説明書をよく読んで、十分に理解した上で本製品を正しくご使用ください。
また、この取扱説明書は必要に応じてご覧になれるよう大切に保管してください。

この取扱説明書の中では、お客様および他の人々の安全をお守りし、事故を未然に防止するための警告文や注意文に以下のシンボルマークと言葉を使用しています。

⚠ 警告	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れがある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
⚠ 注意	取扱いを誤った場合に、負傷または物的損害を負う恐れがある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
『ご注意ください』	操作する上での注意事項、または推奨事項です。 ここに記載されていることを守らないと、製品が正しく機能しない可能性があります。 また、操作上における有益な情報も記載されています。

取扱いについて

⚠ 警告

1. 水をかけたり、濡らしたりしないでください。万一、内部に水が入った場合は使用を中止してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となることがあります。
2. レンズで太陽や輝度の高い光源をのぞかないでください。目に障害を起こす原因となることがあります。
3. ケーブルを抜くときは、必ずコネクター部を持って抜いてください。ケーブル部を引っ張ると、断線などレンズケーブルが傷つき、その部分から漏電して火災や感電の原因となることがあります。.

⚠ 注意

1. 本製品を持ち運ぶときは、落下させないようご注意ください。落下させますと、けがの原因となることがあります。
2. 締付け部は、しっかりと締め付けてください。締付け部が緩むと、落下してけがの原因となることがあります。
3. 定期的（目安として6か月～1年ごと）に取付け部に緩みが無いか点検してください。取付け部が緩むと、落下してけがの原因となることがあります。
4. 製品を炎天下で使用すると、製品の内部が思わぬ高温になる場合があります。高温になる状況が想定される場合は、お客様にて適宜温度対策をお願いいたします。

『ご注意ください』

1. 本製品に強い衝撃を与えると故障の原因となることがあります。
2. このレンズは防滴構造にはなっておりません。雨・雪など、水滴に直接さらして使用しないでください。故障の原因となることがあります。
3. 粉塵の多い場所でのご使用、またはレンズの着脱には十分ご注意ください。製品内に粉塵が入ると、故障の原因となることがあります。
4. 急激な温度変化を与えますと、レンズの内部が曇ってしばらくの間使用できなくなることがあります。曇り対策処置など十分にご配慮ください。
5. 化学薬品を使用するなど特殊な環境のもとでレンズを使用される場合には、あらかじめご相談ください。特殊な環境下で使用すると故障の原因となることがあります。

異常時の対処方法について

⚠ 警告

万一下記のような異常が発生した場合には、ただちにレンズケーブルをカメラから抜いて、お求めになった代理店、または販売店までご連絡ください。

・発煙、異臭、異常音などが発生した場合

・異物（金属や液体など）が製品内部に入ってしまった場合

保守・点検について

⚠ 警告

本製品の外装を清掃するときは、必ずレンズケーブルを抜き、レンズをカメラから取り外してから行ってください。また、ベンジン・シンナーなど引火しやすいものは、使用しないでください。火災や感電の原因となることがあります。

『ご注意ください』

1. レンズの表面に付いたゴミやほこりは、ブローアーで吹き飛ばすか、柔らかい刷毛で軽く払ってください。指紋やシミが付いた場合は、市販のレンズクリーナーを少量浸した清浄な柔らかい綿布またはレンズクリーニングペーパー（シルボン紙など）で軽くふき取ってください。中心から渦を巻きながら周辺に向かってふき上げます。ゴミなどが付着したままで強くこするとレンズ表面に傷がつくことがありますのでご注意ください。
2. 使用条件・頻度・環境などにより異なりますが、毎年一回程度は保守点検を実施し、必要な場合にはオーバーホールなどを行ってください。

保管について

⚠ 注意

使用しないときは、必ずレンズに付属のキャップやカバーを付けてください。キャップやカバーなどを付けない状態で直射日光に当たるとレンズの集光作用により火災の原因となることがあります。

『ご注意ください』

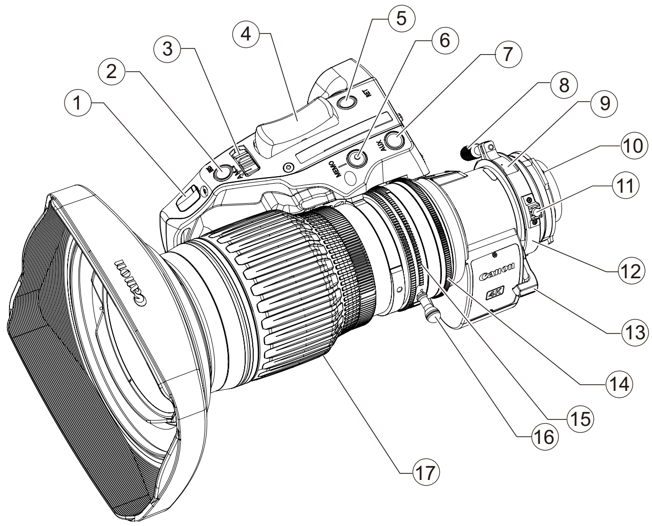
1. 霧や小雨などで湿気を含んだ場合には、速やかに乾いた布で水分をふき取り、乾燥剤（できるだけ新しい乾燥剤を使用）とともに、ビニール袋に入れて密封し、完全に内部の湿気を除去してください。カビや故障の原因となることがあります。
2. 別手配のキャリングケースをご使用になる場合は、お求めになった代理店、または直接キヤノン(株)へ必ずご相談ください。ケースに使われる接着剤等の成分が、製品に悪影響を与える可能性があります。

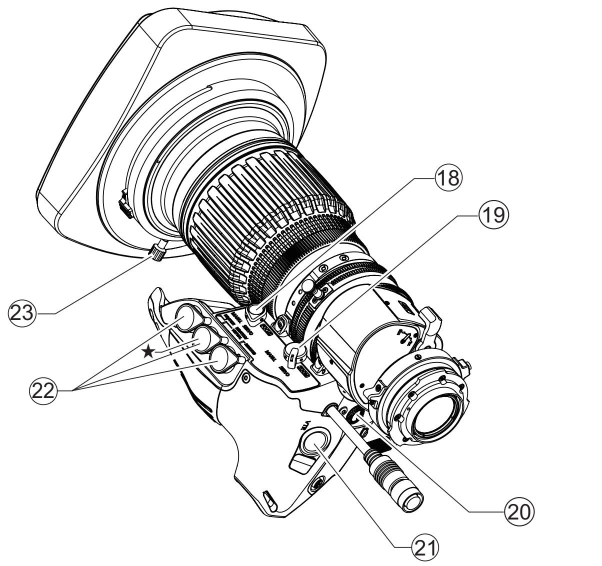
お客様へ

1. お客様の誤った操作に起因する障害については、当社は、責任を負いかねますのでご了承ください。
2. 本製品の品質・機能および取扱説明書に関して、お客様の使用目的に対する適合性・市場性などについては、一切の保証をいたしかねます。また、そこから生じる直接的・間接的損害に対しても責任を負いかねます。
3. 本製品の仕様・商品構成・外観図などは、お断りなく変更することがあります。
4. 修理や保守点検、本取扱説明書に記載されていない諸調整などにつきましては、お求めになった代理店、または販売店までお問い合わせください。
5. お客様のご都合で、当社に相談なく改造が行われた製品に対しては、その修理などをお引き受けできない場合がありますのでご注意ください。

memo

1 各部の名称





①アイリスゲイン調整トリマー

②アイリス瞬時オートスイッチ

③アイリス動作モード切替えスイッチ

④ズームシーソースイッチ

⑤RETスイッチ

⑥MEMOスイッチ

⑦AUXスイッチ

⑧F.B.ロックネジ

⑨F.B.調整リング

⑩位置決めピン

⑪ マクロボタン

⑫マクロリング

⑬エクステンダー切替えレバー

注）KASE Sタイプを除く

⑭ アイリスリング

⑮ズームリング

⑯ズームレバー

⑰フォーカスリング

⑱フォーカスサーボ／マニュアル切替えノブ

注）IASE S、IASE-C S、KASE Sタイプのみ

⑲ズームサーボ／マニュアル切替えノブ

⑳最高 ズームスピード調整ボリューム

㉑VTRスイッチ

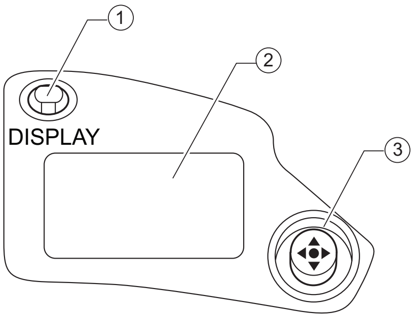
㉒ リモートコネクター（20ピン）

注）ただしバーチャル出力は★印のコネクターのみ有効

ズーム、フォーカスコントロール用アクセサリー（20ピン）を接続します。また、★印のコネクターは各種バーチャルシステムのインターフェース機能も備えており、ズーム、フォーカス、アイリスの各位置信号を出力可能です。

㉓フードロックノブ

情報ディスプレイ部（デジタルドライブユニット）



①ディスプレイスイッチ

ディスプレイの表示をON/OFFします。

②ディスプレイ

操作しない状態が2分以上続くと表示が消えます。

③操作キー

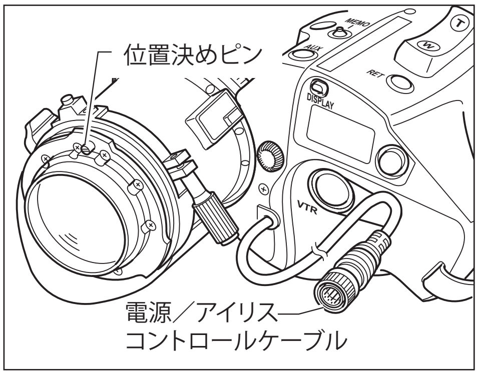
カーソルを上下左右へ動かします。中央部分を押して確定します。

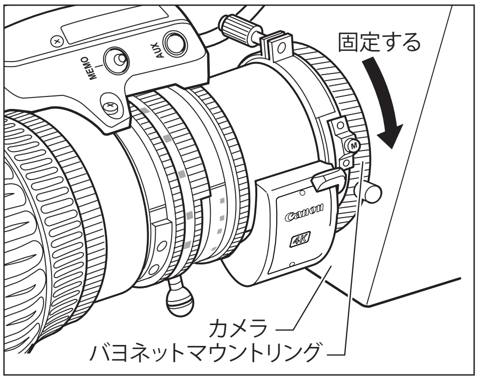
デジタルドライブユニットの操作につきましては、取扱説明書「情報ディスプレイ」をご覧ください。

2 取付け・接続

2-1. カメラへ取り付ける

レンズを接続する前にカメラの電源をOFFにしてください。





1 レンズのダストキャップを外します。

2 レンズ位置決めピンをカメラマウント面にある溝に合わせ、レンズをカメラマウント面に密着させせます。

3 カメラ側のバヨネットマウントリングを回してレンズを固定します。

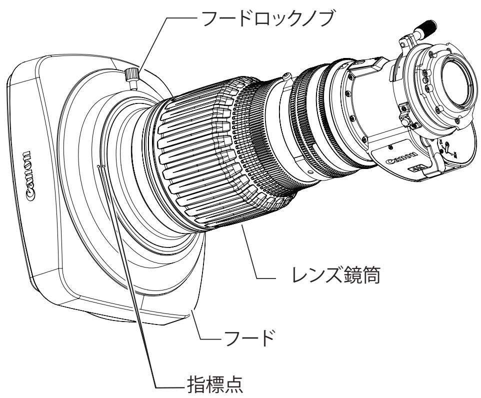
4 レンズ側の電源／アイリスコントロールケーブルをカメラに接続します。

『ご注意ください』

1. レンズ本体やドライブユニット（バンド部を含む）を持ってカメラ全体の重量を支えないでください。マウント部、ドライブユニット部などに無理な力がかかってレンズ各部機構をいためることがあります。
2. 定格電圧：DC12V
   正常動作範囲：DC10V ～ 17V
   バッテリーやアダプターをご使用の際は、メーカーにより定格電圧が高めに出力されている場合がありますので、必ず上記電圧範囲でご使用ください。正常動作範囲外の電圧で使用された場合、ドライブユニットの故障の原因となることがあります。また、レンズ電源入力には極性があります。バッテリーやアダプターをレンズに接続する際は、電源ケーブルの極性を必ずご確認ください。誤った極性で接続すると故障の原因となることがあります。

2-2. フードを取り付ける

出荷時は、レンズキャップが取り付けてあります。最初にこのレンズキャップを取り外します。



1 フードをレンズに取り付けます。

2 フードとレンズ鏡筒に付いている、それぞれの指標点を合わせます。

3 フードロックノブを締めます。

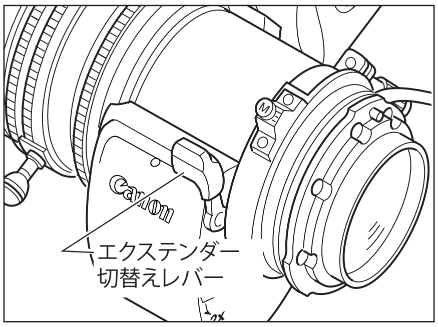
2-3. 電源を投入する

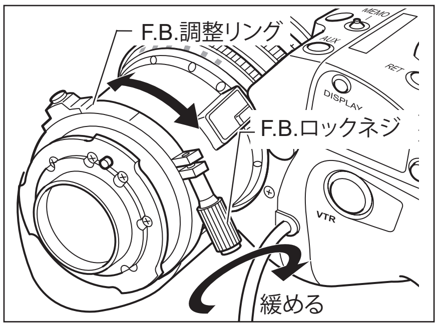
カメラの電源をONにします。レンズにも電源が供給されます。

3 調整

3-1. フランジバックを調整する

ズームレンズの結像面とTVカメラの結像面が合致していないと、ズーム操作を行ったときフォーカスが合わなくなりピンボケになります。以下の手順でレンズのフランジバックを調整します。

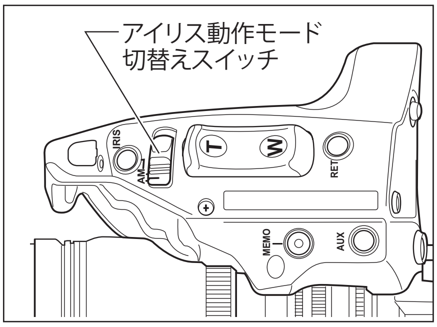


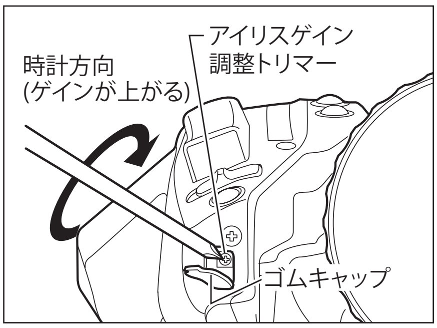


1. 適当と思われる距離（CJ15ex/CJ14ex：1-3m くらい、CJ20ex5B/CJ20ex7.8B/CJ25ex/CJ17ex/CJ18ex7.6B/CJ24ex/KJ10ex/KJ17ex II/KJ22ex II：2-5m くらい、CJ18ex28B：5-7m くらい）に被写体を定めます。コントラストのはっきりしたものを被写体として利用すると作業がしやすくなります。
2. エクステンダー切替えレバーを 1x にします。
（KASE S タイプを除く）
3. アイリス操作でレンズの絞りを開放（オープン）にします。
4. レンズのズームを望遠端（テレ）いっぱいにします。
5. フォーカス操作で焦点（ピント）を合わせます。
6. レンズのズームを広角端（ワイド）いっぱいにします。
7. レンズの F.B. ロックネジを緩め、F.B. 調整リングを回して焦点（ピント）を合わせます。
8. 4 から 7 の操作を 2、3 回繰り返して、ズーム両端での焦点（ピント）を合わせます。
9. F.B. ロックネジを締めます。

3-2. アイリスゲインを調整する

レンズ本体のドライブユニット前面部にアイリスゲイン調整トリマーがあります。出荷時には適正に設定されています。任意に設定変更したい場合は、小型ドライバーなどを使用して調整します。





1. レンズ側のアイリス動作モード切替えスイッチを “A”（オート）側にします。
2. アイリスゲイン調整トリマーに付いているゴムキャップをめくります。
3. アイリスゲイン調整トリマーをドライバーなどで回します。レンズ本体のアイリスリングを見て、ハンチングが起こらない範囲で、ゲインが適正になるように設定してください。
4. 調整後、ゴムキャップを元に戻します。

情報ディスプレイでの調整や設定も可能です。
取扱説明書「情報ディスプレイ」をご覧ください。

4 モード設定

4-1. 操作モードについて

操作モードには以下の3つのモードがあり、本製品の情報ディスプレイ表示画面において、用途やお好みに応じて選択することができます。

1. 簡易モード　：確認および設定ができる項目が限定されており、複雑な設定を必要としないユーザーの方におすすめのモードです。工場出荷時は簡易モードに設定されています。
2. 通常モード　：全ての項目を確認および設定できるモードです。
3. アナログモード：デジタル機能を全く使用しない場合に選択するモードです。
   - VTR、RET、IRIS A/M、IRIS INST のスイッチは、表記通りの機能です。ズームシーソースイッチは、通常のズーム操作スイッチです。
   - AUX、MEMO のスイッチは使用できません。
   - オートアイリスゲイン調整はディスプレイ操作またはトリマー操作で設定できます。
   - シャトルショット、フレームプリセット、スピードプリセット、ズームトラックの機能は使用できません。

本取扱説明書では、各モードのディスプレイ Top 画面から設定可能な項目のみ説明します。

詳細な設定方法につきましては、取扱説明書「情報ディスプレイ」をご覧ください。

4-2. 簡易モードの設定項目

簡易モードのディスプレイTop画面から設定可能な項目は、下記の8種類です。

簡易モード Top初期画面

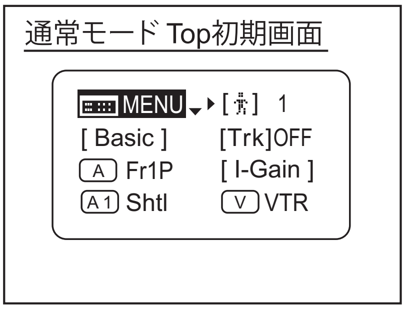
MENU	IG: 50
A Fr1P	[Trk]OFF
A1 Shtl	A2 Fr1P
[I-Tq]H	[Z.M.]

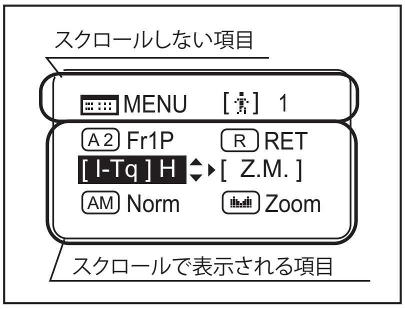
1. MENU画面へ
2. オートアイリスゲインの設定
3. AUXスイッチの機能割付け
4. ズームトラック機能ON/OFF切替え
5. AUX1スイッチへの機能割付け
6. AUX2スイッチへの機能割付け
7. アイリストルクの設定
8. ズームカーブモードの設定

各項目の設定方法につきましては、取扱説明書「情報ディスプレイ」をご覧ください。

4-3. 通常モードの設定項目

通常モードのディスプレイTop画面から設定可能な項目は、下記の14種類です。





1. MENU画面へ
2. ユーザー切替え
3. 簡易モードへの切替え
4. ズームトラック機能ON/OFF切替え
5. AUXスイッチへの機能割付け
6. アイリスゲインの設定
7. AUX1スイッチへの機能割付け
8. VTRスイッチへの機能割付け
9. AUX2スイッチへの機能割付け
10.RETスイッチへの機能割付け
11.アイリストルクの設定
12.ズームカーブモードの設定
13.アイリスA/Mスイッチの設定
14.ズームシーソースイッチへの機能割付け

各項目の設定方法につきましては、取扱説明書「情報ディスプレイ」をご覧ください。

4-4. アナログモードの設定項目

アナログモードのディスプレイTop画面から設定可能な項目は、下記の3種類です。

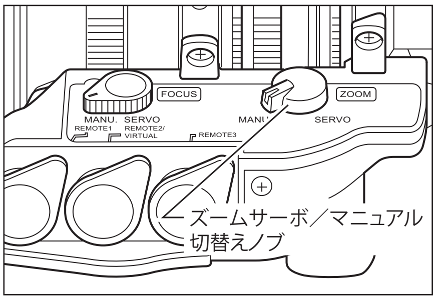
1. MENU画面へ
2. オートアイリスゲインの設定
3. 簡易モードへの切替え

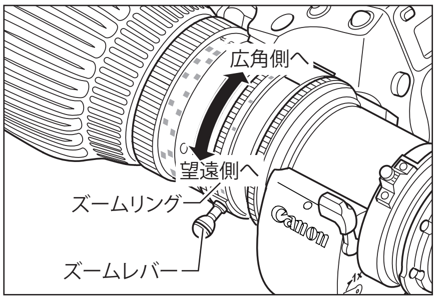
各項目の設定方法につきましては、取扱説明書「情報ディスプレイ」をご覧ください。

5 操作•撮影

5-1. ズーム操作

5-1-1. マニュアルズーム操作





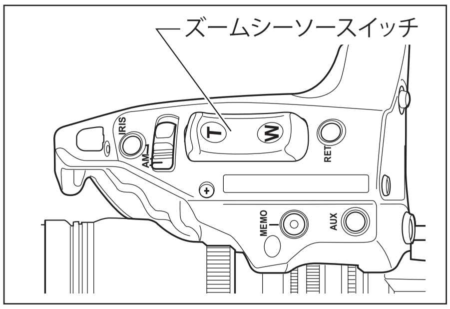
1 ドライブユニット底面部のズームサーボ／マニュアル切替えノブを MANU. 側にします。

2 ズームリング（またはズームレバー）を回してズーム操作を行います。

『ご注意ください』
マニュアルズーム操作を行うときは、必ずズームサーボ／マニュアル切替えノブをMANU.側にしてから行ってください。
SERVO側のまま強引にマニュアルズーム操作を行いますと、故障の原因となることがあります。

5-1-2. サーボズーム操作

レンズに内蔵されているモーターを駆動させズーム操作を行うことができます。

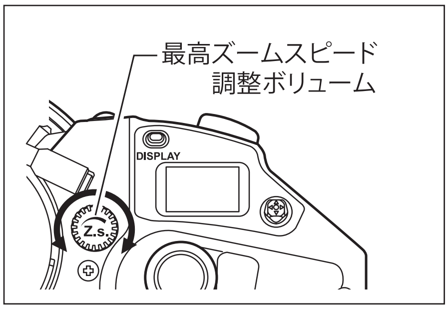


1 ズームサーボ／マニュアル切替えノブを SERVO 側にします。

2 ズームシーソースイッチを押してズーム操作を行います。スイッチの押込み具合によりズームスピードが変わります。深く押すほど、ズームスピードが速くなります。

5-1-3. 最高ズームスピードを調整する

ズームシーソースイッチを最も深く押したときの最高ズームスピードは、最高ズームスピード調整ボリュームで調整できます。

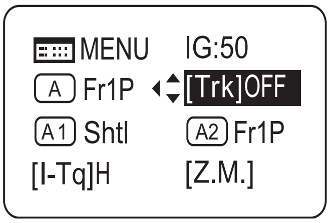


情報ディスプレイでの調整や設定も可能です。取扱説明書「情報ディスプレイ」をご覧ください。

5-1-4. ズームトラック機能（サーボのみ）

ズームコントロール域（ズームトラック）を任意のズーム範囲で規制し、望遠端（テレ端）および広角端（ワイド端）を仮想的に設定できます。ズームトラック機能を使用する場合、あらかじめ機能をONにしておく必要があります。

A：情報ディスプレイ上で ON/OFF を切り替える（簡易モードの場合）



1 ディスプレイスイッチを押し、ディスプレイを表示させます。

2 操作キーで［Trk］を選択したあと、Set キーを押します。［Trk］と前回の設定が点滅表示になります。（左図参照）

3 右キーまたは左キーを ON または OFF に切り替えます。

4 Set キーを押して、設定は完了です。

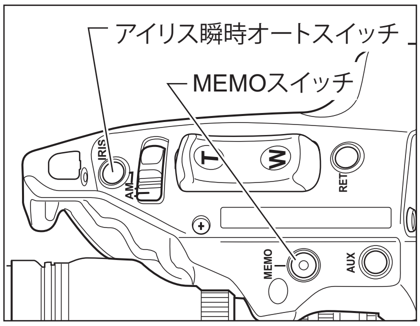
詳細な設定につきましては、取扱説明書「情報ディスプレイ」をご覧ください。

B：スイッチ操作で ON/OFF を切り替える

	切替操作	動作	お知らせ方法
ONにする	MEMOスイッチとアイリス瞬時オートスイッチを同時に3秒間以上押し続ける	前回固定したズーム範囲に固定される（前回設定していない場合はメカ端点）	現在のズーム位置から近い方の設定位置に自動的にズーミングする
OFFにする		ズーム範囲がメカ端点になる	現在のズーム位置から近い方のメカ端点位置に自動的にズーミングする

ズームトラック位置を設定する

ズームトラックの位置設定をする前に、あらかじめズームトラック機能を ON にします。



1 設定するズームトラック位置にズーミングします。

2 ズーム位置を保持したまま、MEMO スイッチを押しながらアイリス瞬時オートスイッチを押します。望遠側であれば望遠端、広角側であれば広角端のズームトラック位置として記憶されます。

3 望遠側、広角側それぞれに 1 ～ 2 項の操作で設定を行います。どちらか一方の設定も可能です。再設定する場合は、1 ～ 3 項の操作を行います。（あとから設定された位置に記憶が書き替えられます。）

1. ズームトラック位置を再設定する場合、サーボズーム操作では、ズーム位置を設定端点よりメカ端点側に移動できません。このような場合、ズームトラック機能を一度 OFF にして、下記のいずれかを行ってください。
   - ズームシーソースイッチ操作で設定のズーミングを行う。
   - 手動で操作する。
2. ズームトラック位置は最大 2 か所（望遠側、広角側）まで設定することが可能ですが、レンズのズーム域の中間からどちらか片側に片寄って、2 か所設定することはできません。（この場合、あとから設定された点がその側のズームトラック位置として記憶されます。）

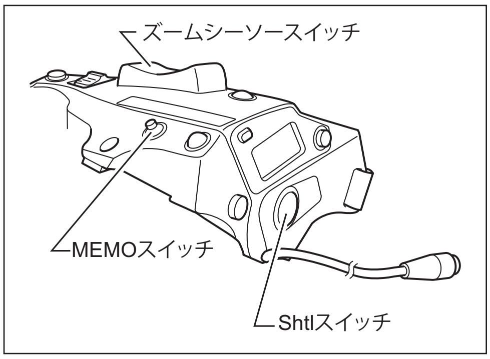
5-1-5. シャトルショット

シャトルショットとは、現在のズームポジションとあらかじめ登録しておいたズームポジションを最高速で切り替える機能です。

現在のズームポジション　シャトルメモリーポジション　元のズームポジション

シャトルショット機能を使用するには、シャトル機能をドライブユニットのVTR、RET、AUXスイッチ、もしくはズームデマンドのAUX1、AUX2スイッチに割り付けることが必要です。本取扱説明書では、VTRスイッチにShtl機能を割り付けた場合で説明します。詳細につきましては「5-6.スイッチ操作」をご覧ください。

シャトルメモリーポジションを設定する



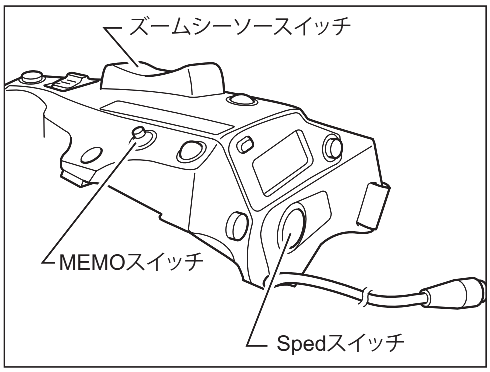
任意のポジションにズーミングし、そのポジションのまま、MEMO スイッチを押しながら Shtl スイッチを押します。

1. 設定したシャトルメモリーポジションは、後述のフレーミングプリセットで設定するポジションとは別のものです。また、このとき設定したポジションは電源 OFF 後も記憶されます。
2. Shtl スイッチによる操作を優先させているため、Shtl スイッチを押している間はズームシーソーススイッチによる操作は行えません。

5-1-6. スピードプリセット

スピードプリセットとは、あらかじめ登録しておいたズームスピードを何度も再現できる機能です。ドライブユニットのVTR、RET、AUXスイッチ、もしくはズームデマンドのAUX1、AUX2スイッチのいずれかにSped機能を割り付けます。本取扱説明書では、VTRスイッチにSped機能を割り付けた場合で説明します。

1. ズームスピードおよびズーム方向を記憶させる



記憶させたいズームスピードとズーム方向（望遠側または広角側）にズームシーソースイッチを操作したままMEMOスイッチを押します。

記憶されたズームスピードは、フレーミングプリセットに反映されます。

2.　スピードプリセットの操作方法

Spedスイッチを押すと、1.項で記憶させたスピードと方向（望遠側または広角側）に向かって移動し始め、ズーム端へ到達すると停止します。

3.　スピードプリセットでの移動中の解除

スピードプリセットでの移動中、下記のいずれかの操作により移動が解除されます。

1）　Spedスイッチをもう一度押す。→移動が停止する。

2）　ズームシーソースイッチ/Shtlスイッチ/Fr1Pスイッチ/Fr2Pスイッチ/Fr1Fスイッチ/Fr2Fスイッチ操作を行う。

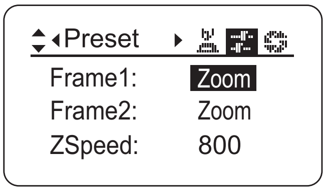
5-1-7. フレーミングプリセット

フレーミングプリセットには、以下の 3 種類の組み合わせがあります。

［Zoom］
あらかじめ決めた画角と移動スピード（ズームスピード）を容易に再現できます。

［Focus］（IASE S、IASE-C S、KASE S タイプのみ）
あらかじめ決めたピントを容易に再現できます。

［ Z + F ］（IASE S、IASE-C S、KASE S タイプのみ）
あらかじめ決めたピントと画角への移動スピード（フォーカススピード、ズームスピード）を容易に再現できます。



フレーミングプリセットの設定切り替えは、情報ディスプレイのPreset画面で行います。Frame1の設定をZoom、Focus、Z+Fのいずれかに切り替えます。

フレーミングプリセットは、Frame1 および Frame2 の 2 か所までメモリーできます。次ページ以降の説明では Frame1 のみ記載しています。また、Frame1 は Fr1P と表示しています。

フレーミングメモリーポジションへの移動スピード選択

フレーミングポジションへの移動スピードの選択はFr1P、Fr1Fのスイッチ割付けで行います。

・Fr1P------------設定スピード（Preset Speed）（工場出荷時はAUXスイッチに割り付けられています）
・Fr1F------------最高スピード（Fast Speed）

スイッチの割付け方法につきましては、「5-6.スイッチ操作」をご覧ください。

設定組み合わせ

フレームプリセット制御対象	制御内容	移動スピードの設定	
		Fr1P、Fr2P（スピード設定可能）	Fr1F、Fr2F（最高スピード）
Zoom	ズーム動作制御	ズームが設定スピードで移動	ズームが最高スピードで移動
Foucs	フォーカス動作制御	フォーカスが最高スピードで移動＊1	フォーカスが最高スピードで移動
Z+F	ズーム+フォーカス動作制御	ズームとフォーカスが設定スピードで移動＊2	ズームとフォーカスが最高スピードで移動

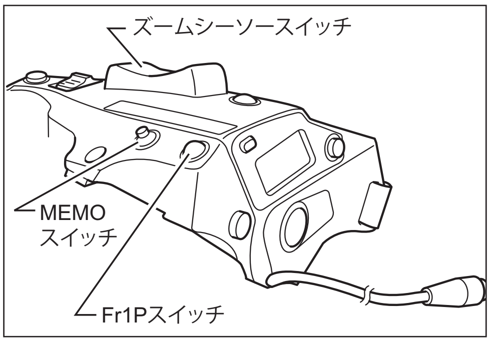
＊1：フォーカススピードは最高スピードで固定されています。
＊2：ズームとフォーカスは、同時に始動し同時に停止するように制御されます。

フレーミングプリセット［Zoom］／［Focus］／［ Z+F ］の設定

イラストは一例です。機能をほかのスイッチに割り付けている場合、掲載のイラストと実際のスイッチ状態が異なることがありますのでご注意ください。

- Fr1P 機能 ------- 工場出荷時 AUX スイッチに割付け

1. フレーミングメモリーポジションを設定する



任意のポジションにズーミング（およびフォーカス）し､そのポジションのままMEMOスイッチを押しながらFr1Pスイッチを押します。

設定したフレーミングメモリーポジションはシャトルショットで設定するポジションとは別のものです。また、このときに設定したポジションは電源 OFF 後も記憶されます。

2. フレーミングメモリーポジションへ移動する

Fr1Pスイッチを押すとフレーミングメモリーポジションへ選択したスピードで移動し始め､フレーミングメモリーポジションへ到達すると停止します。

3. フレーミングメモリーポジションへの移動を解除する､または切り替える

メモリーポジションへの移動中､下記のいずれかの操作により移動が解除されます。

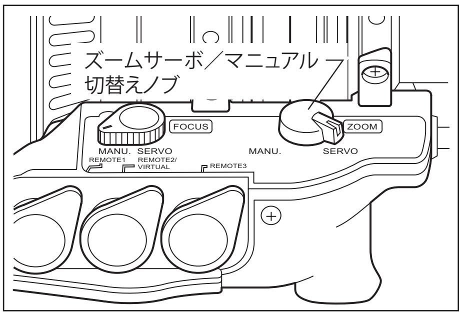
［ズームフレーミングプリセット］

- Fr1Pスイッチをもう一度押す。
- ズームシーソースイッチによる操作を行う。
- Shtlスイッチによる操作を行う。

［フォーカス･フレーミングプリセット］
［ズーム･フォーカスフレーミングプリセット］

- 接続されたフォーカスデマンドを操作する｡メモリーポジションへの移動は停止し､フォーカスデマンドの操作位置に移動します。

5-1-8 クラッチレスズーム操作（クラッチレスズーム機構搭載レンズのみ）



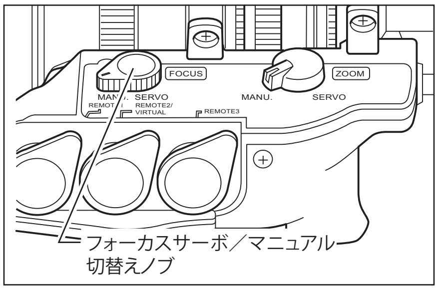
クラッチレスズーム機構を使用する場合は、ズームサーボ／マニュアル切替えノブを SERVO 側に設定します。

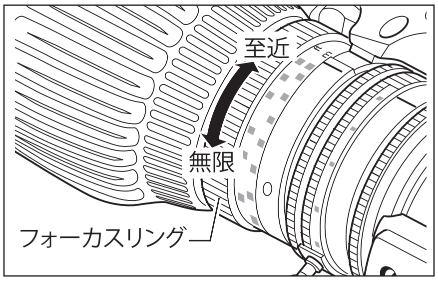
『ご注意ください』
ズームサーボ中にマニュアル操作を行うと､故障の原因となることがあります。

ズームサーボ／マニュアル切替えノブ	クラッチレスズーム機構	操作
SERVO	ON	サーボ操作とマニュアル操作の両方を行うときの設定 切替え操作なしでサーボ､マニュアルの操作が可能
MANU.	OFF	マニュアル操作のみを行うときの設定

5-2. フォーカス操作

5-2-1. マニュアルフォーカス操作



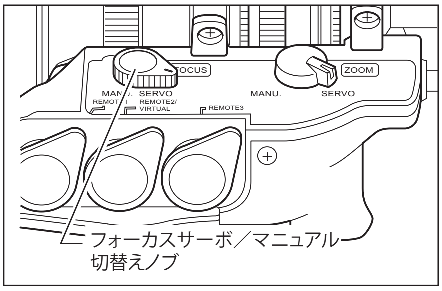


1 IASE S、IASE-C S、KASE S タイプのレンズの場合は、フォーカスサーボ / マニュアル切替えノブを MANU. 側にします。

『ご注意ください』
IASE S、IASE-C S、KASE S タイプのレンズをお使いの場合、SERVO 側のまま無理にフォーカスリングを回転させると、故障の原因となることがあります。

2 フォーカスリングを回転させて、至近側または無限側の被写体に焦点（ピント）を合わせます。

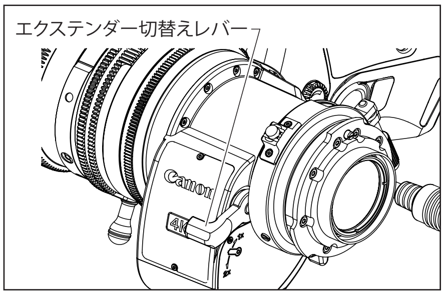
5-2-2. サーボフォーカス操作



1 IASE S、IASE-C S、KASE S タイプのレンズの場合は、フォーカスサーボ / マニュアル切替えノブを SERVO 側にします。

2 フォーカスデマンドなどのアクセサリーを取り付けます。操作方法につきましては、ご使用になるアクセサリーの取扱説明書をご覧ください。

5-3. エクステンダー操作 (KASE S タイプを除く)



エクステンダー内蔵レンズには､2倍エクステンダーが内蔵されています｡

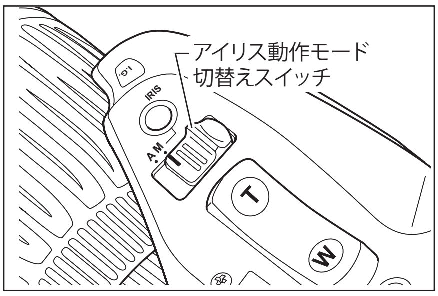
エクステンダー切替えレバーを操作して､1x/2xを選択します｡

エクステンダーを使用すると､アイリス補正の設定によってはその変倍分だけ光量が低下します｡

5-4. アイリス操作

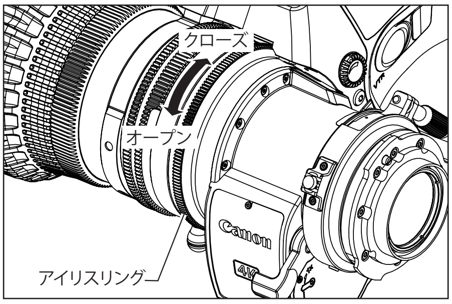
アイリス動作モード切替えスイッチによりオート／マニュアル操作を選択できます。

5-4-1.オートアイリス操作



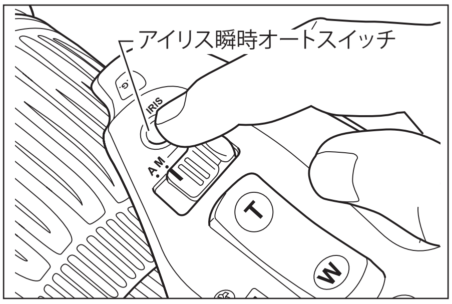
アイリス動作モード切替えスイッチをA側にします。
カメラからの指令信号によるオート(自動)アイリス操作になります。
ビデオ信号レベルを常に一定に保ちます。

5-4-2.マニュアルアイリス操作



アイリス動作モード切替えスイッチをM側にします。レンズ本体のアイリスリングを手動で回してアイリス操作を行います。

『ご注意ください』
マニュアルアイリス操作を行うときは、必ずアイリス動作モード切替えスイッチをM側にしてから行ってください。A側のまま強引にマニュアルアイリス操作を行うと、故障の原因となることがあります。

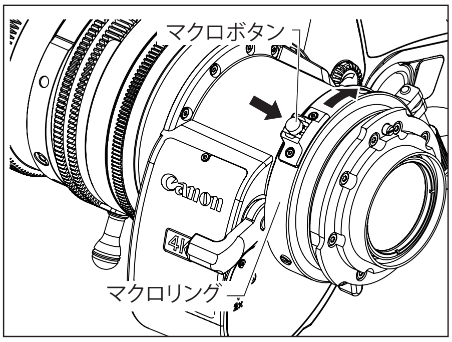


アイリスをマニュアル操作で撮影中に、アイリス瞬時オートスイッチを押すと、押している間だけA（オート）アイリス状態になります。

情報ディスプレイでの調整や設定も可能です。取扱説明書「情報ディスプレイ」をご覧ください。

5-5. マクロ操作

小さな被写体を、至近撮影距離（M.O.D.）よりさらに近接して撮影する場合に使用します。最短で1cm（ワイド端、マクロ位置）まで近づいて接写できます。



マクロボタンを押してロックを解除し、押したままの状態でレンズ本体後部にあるマクロリングを、カメラ側から見て時計方向に回すとマクロ撮影ができます。

1. マニュアルまたはサーボによりズームを広角（ワイド）端いっぱいにします。
2. マクロボタンを押してマクロリングを回転させ、ピントを合わせます。

広角端以外でもマクロ操作は可能ですが、近接距離が長くなります。

多点フォーカス撮影について

マクロ撮影の状態からズーム操作で焦点距離を変えていくと、ピントの合う位置も変化していきます。この特性を利用して、ズーム操作だけで、同一カット内でピントの合う位置をずらしていく特殊技法が多点フォーカス撮影です。撮影の手順は次のとおりです。

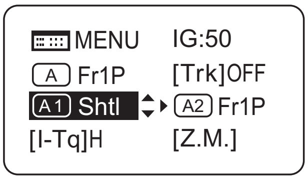
1. 遠方の被写体にズームアップし、通常のフォーカス操作でピントを合わせます。
2. ズームを広角（ワイド）側に引いて、近距離の被写体にマクロ操作でピントを合わせます。
3. マクロボタンを 2 の状態にしたまま、再度遠方の被写体にズームアップし、通常のフォーカス操作でピントを合わせます。

5-6. スイッチ操作

ドライブユニットのVTR、RET、AUXスイッチ、もしくはズームデマンドのAUX1、AUX2の5つのスイッチには、情報ディスプレイから各機能を割り付けることができます。工場出荷時には、それぞれVTR、RET、Fr1P、Shtl、Fr1Pの機能が割り付けられています。

ここでは簡易モードでの各スイッチへの機能割付けの簡単な手順を記載します。

詳細な手順につきましては、取扱説明書「情報ディスプレイ」をご覧ください。

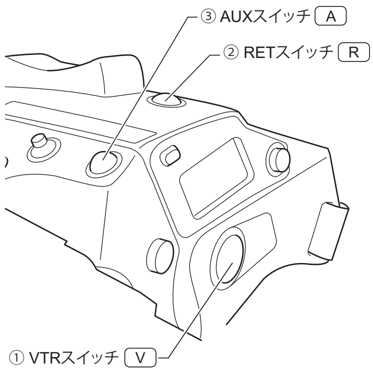


1 ディスプレイスイッチを押し、ディスプレイを表示させます。

2 操作キーで割付けを行うスイッチ名を選択し、Set キーを押します。
スイッチ名とデフォルトまたは前回設定が点滅表示になります。

3 右キーまたは左キーを押し、任意の機能に切り替えます。

4 Set キーを押します。設定は完了です。



スイッチ	デフォルト	割付け可能な機能								
		Fr1P	Fr1F	Fr2P	Fr2F	Sped	Shtl	NON	VTR	RET
① V	VTR	●	●	●	●	●	●		●	●
② R	RET	●	●	●	●	●	●		●	●
③ A	Fr1P	●	●	●	●	●	●	●	●	●
④ A1	Shtl	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑤ A2	Fr1P	●	●	●	●	●	●	●	●	●

●は割付け可能な機能とスイッチの組合せを表しています。
④、⑤はズームデマンドの AUX1、AUX2 スイッチです。

機能	機能概要
VTR	VTRを開始または停止します。
RET	スイッチを押している間、ビューファインダー上で本線の映像を確認できます。
Fr1P、Fr2P	スイッチを押すと、記憶したズーム/フォーカスの位置まで移動します。Fr1PとFr1Fで1か所、Fr2PとFr2Fで1か所の記憶および再生が可能です。
Fr1F、Fr2F	
Sped	スイッチを押すと、記憶したズームスピードおよび方向(望遠側または広角側)へ移動します。
Shtl	記憶したズームポジションに最高速度で移動し、スイッチを離すと元のズームポジションへ高速で戻ります。
NON	機能はありません。

6 製品仕様

UHDxs LENSES

モデル名			CJ15ex4.3B	CJ20ex5B
焦点距離		1×	4.3-65mm	5-100mm
		2×	8.6-130mm	10-200mm
ズーム比			15 ×	20 ×
最大口径比		1×	1:1.8 (at 4.3-40mm) 1:2.9 (at 65mm)	1:1.8 (at 5-61mm) 1:2.95 (at 100mm)
		2×	1:3.6 (at 8.6-80mm) 1:5.8 (at 130mm)	1:3.6 (at 10-122mm) 1:5.9 (at 200mm)
有効画面寸法			対角 11mm (9.6 × 5.4 mm)	
包括角度	広角端	1×	96.3º × 64.2º	87.7º × 56.7º
		2×	58.3º × 34.9º	51.3º × 30.2º
	望遠端	1×	8.4º × 4.8º	5.5º × 3.1º
		2×	4.2º × 2.4º	2.7º × 1.5º
至近距離 （マクロ時　前玉より 10mm）			0.3m	0.4m
至近での撮像範囲	広角端	1×	76.1 × 42.8cm	87.1 × 49.0cm
		2×	38.1 × 21.4cm	43.6 × 24.5cm
	望遠端	1×	4.9 × 2.8cm	4.2 × 2.4cm
		2×	2.5 × 1.4cm	2.1 × 1.2cm
フランジバック			48mm（空気換算）	
フィルター径			127mm P0.75（フード内）	
全域ズームスピード			Max. 0.5s ± 0.2s	
全域フォーカススピード			1.3s ± 0.3s	
アイリス			カメラよりコントロール	
マウント			B4	
所要入力電圧			DC12V（DC10 ～ 17V）	
消費電流		R タイプ	最大 300mA	
		A タイプ	最大 500mA	
使用環境条件			温度：－ 20℃ ～ ＋ 45℃ 相対湿度：5%RH より 95% RH の範囲（結露を生じないこと）	
質量		IRSE S	約 2.11kg	約 2.16kg
		IASE S	約 2.19kg	約 2.24kg

6 製品仕様

モデル名			CJ20ex7.8B	CJ25ex7.6B
焦点距離		1×	7.8-156mm	7.6-190mm
		2×	15.6-312mm	15.2-380mm
ズーム比			20 ×	25 ×
最大口径比		1×	1:1.8 (at 7.8-108mm) 1:2.6 (at 156mm)	1:1.8 (at 7.6-118mm) 1:2.9 (at 190mm)
		2×	1:3.6 (at 15.6-216mm) 1:5.2 (at 312mm)	1:3.6 (at 15.2-236mm) 1:5.8 (at 380mm)
有効画面寸法			対角 11mm (9.6 × 5.4 mm)	
包括角度	広角端	1×	63.2º × 38.2º	64.6º × 39.1º
		2×	34.2º × 19.6º	35.1º × 20.1º
	望遠端	1×	3.5º × 2.0º	2.89º × 1.63º
		2×	1.8º × 1.0º	1.45º × 0.81º
至近距離 （マクロ時　前玉より 10mm）			0.8m	
至近での撮像範囲	広角端	1×	91.7 × 51.6cm	93.9 × 52.8cm
		2×	45.9 × 25.8cm	48.1 × 27.1cm
	望遠端	1×	4.8 × 2.7cm	3.9 × 2.2cm
		2×	2.4 × 1.4cm	2.0 × 1.1cm
フランジバック			48mm（空気換算）	
フィルター径			94mm P1.0（レンズ鏡筒） または 105mm P1.0（フード内）	
全域ズームスピード			Max. 0.5s ± 0.2s	
全域フォーカススピード			1.5s ± 0.3s	
アイリス			カメラよりコントロール	
マウント			B4	
所要入力電圧			DC12V（DC10 ～ 17V）	
消費電流	R タイプ		-	最大 300mA
	A タイプ		最大 500mA	
使用環境条件			温度：－ 20℃ ～ ＋ 45℃ 相対湿度：5%RH より 95% RH の範囲（結露を生じないこと）	
質量	IRSE S		-	約 1.91kg
	IASE S		約 2.18kg	約 1.99kg

UHDgc LENSES

モデル名			CJ14ex4.3B	CJ17ex6.2B
焦点距離		1×	4.3-60mm	6.2-106mm
		2×	8.6-120mm	12.4-212mm
ズーム比			14×	17×
最大口径比		1×	1:1.8 (at 4.3-40mm) 1:2.7 (at 60mm)	1:1.8 (at 6.2-65.8mm) 1:2.9 (at 106mm)
		2×	1:3.6 (at 8.6-80mm) 1:5.4 (at 120mm)	1:3.6 (at 12.4-131.6mm) 1:5.8 (at 212mm)
有効画面寸法			対角 11mm (9.6 × 5.4 mm)	
包括角度	広角端	1×	96.3º × 64.2º	75.5º × 47.1º
		2×	58.3º × 34.9º	42.3º × 24.6º
	望遠端	1×	9.1º × 5.2º	5.2º × 2.9º
		2×	4.6º × 2.6º	2.6º × 1.5º
至近距離 （マクロ時　前玉より 10mm）			0.3m	0.4m
至近での撮像範囲	広角端	1×	76.4 × 43.0cm	73.3 × 41.2cm
		2×	38.2 × 21.5cm	36.7 × 20.6cm
	望遠端	1×	5.2 × 2.9cm	4.1 × 2.3cm
		2×	2.6 × 1.5cm	2.1 × 1.2cm
フランジバック			48mm（空気換算）	
フィルター径			127mm P0.75 （フード内）	105mm P1.0 （フード内）
全域ズームスピード			Max. 0.5s ± 0.2s	
全域フォーカススピード			1.3s ± 0.3s	1.5s ± 0.3s
アイリス			カメラよりコントロール	
マウント			B4	
所要入力電圧			DC12V（DC10 ～ 17V）	
消費電流		R タイプ	最大 300mA	
		A タイプ	最大 500mA	
使用環境条件			温度：－ 20℃ ～ ＋ 45℃ 相対湿度：5%RH より 95% RH の範囲（結露を生じないこと）	
質量		IRSE S	約 2.11kg	約 2.07kg
		IASE S	約 2.19kg	約 2.15kg

6 製品仕様

モデル名			CJ18ex7.6B*	CJ18ex28B	CJ24ex7.5B
焦点距離		1×	7.6-137mm	28-500mm	7.5-180mm
		2×	15.2-274mm	56-1000mm	15-360mm
ズーム比			18×	18×	24×
最大口径比		1×	1:1.8 (at 7.6-103mm) 1:2.4 (at 137mm)	1:2.8(at 28-286mm) 1:4.9(at 500mm)	1:1.8 (at 7.5-120mm) 1:2.7 (at 180mm)
		2×	1:3.6 (at 15.2-206mm) 1:4.8 (at 274mm)	1:5.6(at 56-572mm) 1:9.8(at 1000mm)	1:3.6 (at 15-240mm) 1:5.4 (at 360mm)
有効画面寸法			対角 11mm (9.6 × 5.4 mm)		
包括角度	広角端	1×	64.6º × 39.1º	19.5º × 11.0º	65.2º × 39.6º
		2×	35.1º × 20.1º	9.8º × 5.5º	35.5º × 20.4º
	望遠端	1×	4.0º × 2.3º	1.10º × 0.62°	3.1º × 1.7º
		2×	2.0º × 1.1º	0.55º × 0.31º	1.5º × 0.9º
至近距離 （マクロ時　前玉より 10mm）			0.56m	2.2m	0.8m
至近での撮像範囲	広角端	1×	65.5 × 36.8cm	71.0 × 39.9cm	96.0 × 54.0cm
		2×	32.8 × 18.4cm	35.5 × 20.0cm	48.0 × 27.0cm
	望遠端	1×	3.8 × 2.1cm	4.1 × 2.3cm	4.1 × 2.3cm
		2×	1.9 × 1.1cm	2.1 × 1.2cm	2.1 × 1.2cm
フランジバック			48mm（空気換算）		
フィルター径			82mm P0.75 （レンズ鏡筒）	127mm P0.75 （フード内）	94mm P1.0（レンズ鏡筒） または 105mm P1.0（フード内）
全域ズームスピード			Max. 0.5s ± 0.2s		
全域フォーカススピード			1.3s ± 0.3s	1.5s ± 0.3s	
アイリス			カメラよりコントロール		
マウント			B4		
所要入力電圧			DC12V（DC10 ～ 17V）		
消費電流	R タイプ		最大 300mA	—	最大 300mA
	A タイプ		最大 500mA		
使用環境条件			温度：－ 20℃ ～ ＋ 45℃ 相対湿度：5%RH より 95% RH の範囲（結露を生じないこと）		
質量	IRSE S		約 1.65kg	—	約 1.82kg
	IASE S		約 1.73kg	約 2.76kg	約 1.90kg
	KASE S		約 1.68kg	—	—

*CJ18ex7.6B KASE S : エクステンダーなし

HDGC LENSES

<table>
<tr><td colspan="3">モデル名</td><td>KJ10ex4.5B</td><td>KJ17ex7.7B II</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">焦点距離</td><td>1×</td><td>4.5-45mm</td><td>7.7-131mm</td></tr>
<tr><td>2×</td><td>9-90mm</td><td>15.4-262mm</td></tr>
<tr><td colspan="3">ズーム比</td><td>10 ×</td><td>17×</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">最大口径比</td><td>1×</td><td>1:1.8 (at 4.5-34.5mm)
1:2.35 (at 45mm)</td><td>1:1.8 (at 7.7-103mm)
1:2.3 (at 131mm)</td></tr>
<tr><td>2×</td><td>1:3.6 (at 9-68.9mm)
1:4.7 (at 90mm)</td><td>1:3.6 (at 15.4-206mm)
1:4.6 (at 262mm)</td></tr>
<tr><td colspan="3">有効画面寸法</td><td colspan="2">対角 11mm (9.6 × 5.4 mm)</td></tr>
<tr><td rowspan="4">包括角度</td><td rowspan="2">広角端</td><td>1×</td><td>93.7º × 61.9º</td><td>63.9º × 38.6º</td></tr>
<tr><td>2×</td><td>56.1º × 33.4º</td><td>34.6º × 19.9º</td></tr>
<tr><td rowspan="2">望遠端</td><td>1×</td><td>12.2º × 6.9º</td><td>4.2º × 2.4º</td></tr>
<tr><td>2×</td><td>6.1º × 3.4º</td><td>2.1º × 1.2º</td></tr>
<tr><td colspan="3">至近距離
（マクロ時　前玉より 10mm）</td><td>0.3m</td><td>0.6m</td></tr>
<tr><td rowspan="4">至近での撮像範囲</td><td rowspan="2">広角端</td><td>1×</td><td>74.1 × 41.7cm</td><td>67.3 × 37.9cm</td></tr>
<tr><td>2×</td><td>37.0 × 20.8cm</td><td>33.7 × 19.0cm</td></tr>
<tr><td rowspan="2">望遠端</td><td>1×</td><td>6.4 × 3.6cm</td><td>4.2 × 2.4cm</td></tr>
<tr><td>2×</td><td>3.2 × 1.8cm</td><td>2.1 × 1.2cm</td></tr>
<tr><td colspan="3">フランジバック</td><td colspan="2">48mm（空気換算）</td></tr>
<tr><td colspan="3">フィルター径</td><td>127mm P0.75
（フード内）</td><td>82mm P0.75
（レンズ鏡筒）</td></tr>
<tr><td colspan="3">全域ズームスピード</td><td colspan="2">Max. 0.5s ± 0.2s</td></tr>
<tr><td colspan="3">全域フォーカススピード</td><td colspan="2">1.3s ± 0.3s</td></tr>
<tr><td colspan="3">アイリス</td><td colspan="2">カメラよりコントロール</td></tr>
<tr><td colspan="3">マウント</td><td colspan="2">B4</td></tr>
<tr><td colspan="3">所要入力電圧</td><td colspan="2">DC12V（DC10 ～ 17V）</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">消費電流</td><td>R タイプ</td><td colspan="2">最大 300mA</td></tr>
<tr><td>A タイプ</td><td colspan="2">最大 500mA</td></tr>
<tr><td colspan="3">使用環境条件</td><td colspan="2">温度：－ 20℃ ～ ＋ 45℃
相対湿度：5%RH より 95% RH の範囲（結露を生じないこと）</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">質量</td><td>IRSE S</td><td>約 1.83kg</td><td>約 1.65kg</td></tr>
<tr><td>IASE S</td><td>約 1.91kg</td><td>約 1.73kg</td></tr>
</table>

モデル名			KJ22ex7.6B II
焦点距離		1×	7.6-168mm
		2×	15.2-336mm
ズーム比			22×
最大口径比		1×	1:1.8(at 7.6-120mm) 1:2.6(at 168mm)
		2×	1:3.6(at 15.2-240mm) 1:5.2(at 336mm)
有効画面寸法			対角 11mm (9.6 × 5.4 mm)
包括角度	広角端	1×	64.6º × 39.1º
		2×	35.1º × 20.1º
	望遠端	1×	3.27º × 1.84º
		2×	1.64º × 0.92º
至近距離 （マクロ時　前玉より 10mm）			0.8m
至近での撮像範囲	広角端	1×	94.7 × 53.3cm
		2×	47.4 × 26.7cm
	望遠端	1×	4.4 × 2.5cm
		2×	2.2 × 1.3cm
フランジバック			48mm（空気換算）
フィルター径			94mm P1.0（レンズ鏡筒）または 105mm P1.0（フード内）
全域ズームスピード			Max. 0.5s ± 0.2s
全域フォーカススピード			1.5s ± 0.3s
アイリス			カメラよりコントロール
マウント			B4
所要入力電圧			DC12V（DC10 ～ 17V）
消費電流	R タイプ		最大 300mA
	A タイプ		最大 500mA
使用環境条件			温度：－ 20℃ ～ ＋ 45℃ 相対湿度：5%RH より 95% RH の範囲 （結露を生じないこと）
質量	IRSE S		約 1.82kg
	IASE S		約 1.90kg

資料集

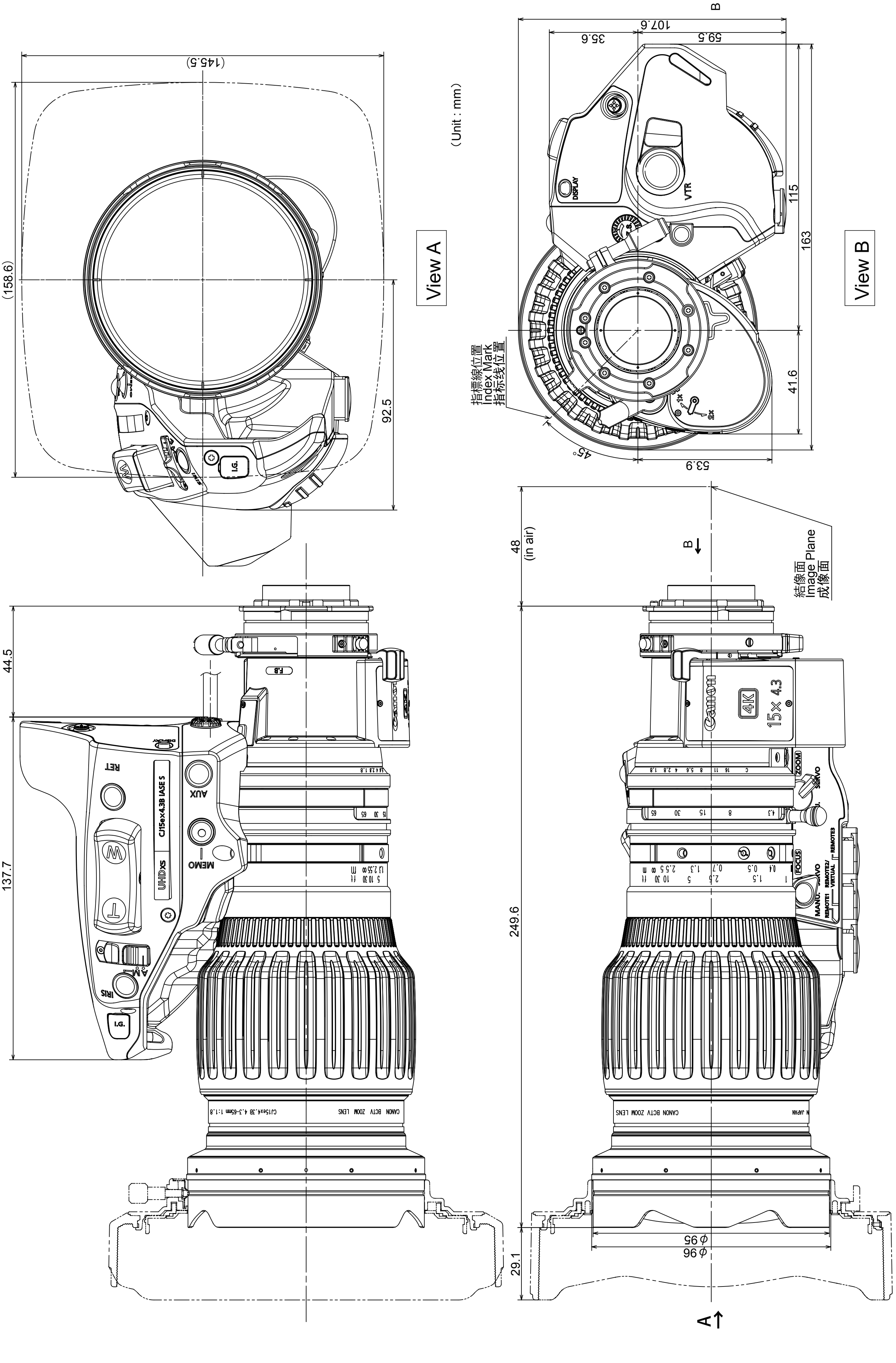
memo

外観図

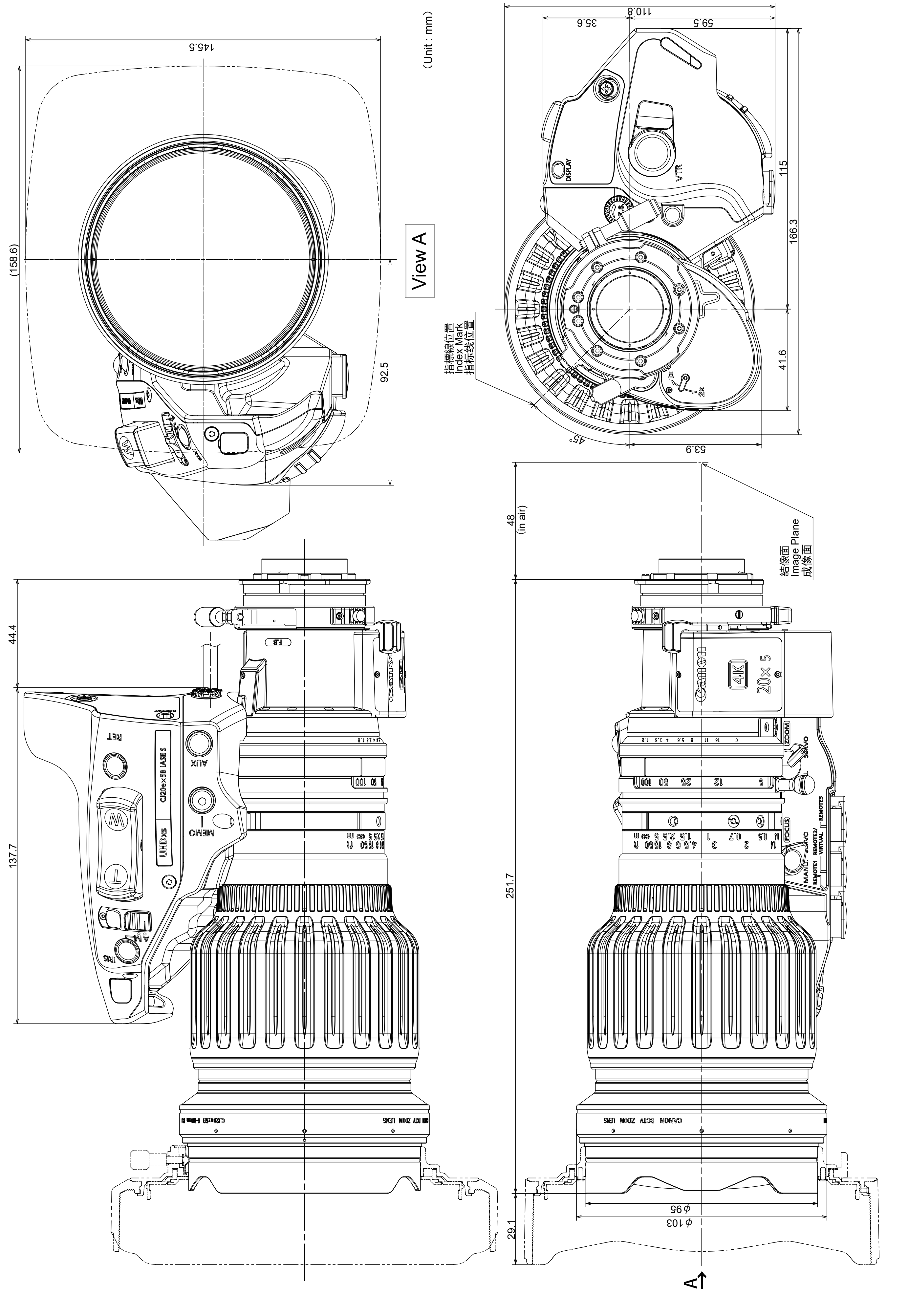
1. CJ15ex4.3B IASE S
2. CJ20ex5B IASE S
3. CJ20ex7.8B IASE S
4. CJ25ex7.6B IASE S
5. CJ14ex4.3B IASE S
6. CJ17ex6.2B IASE S
7. CJ18ex7.6B IASE S
8. CJ18ex28B IASE S
9. CJ24ex7.5B IASE S
10. KJ10ex4.5B IASE S
11. KJ17ex7.7B IASE II S
12. KJ22ex7.6B IASE II S

IRSE S、KASE S タイプおよびクラッチレスタイプは外観が一部異なります。

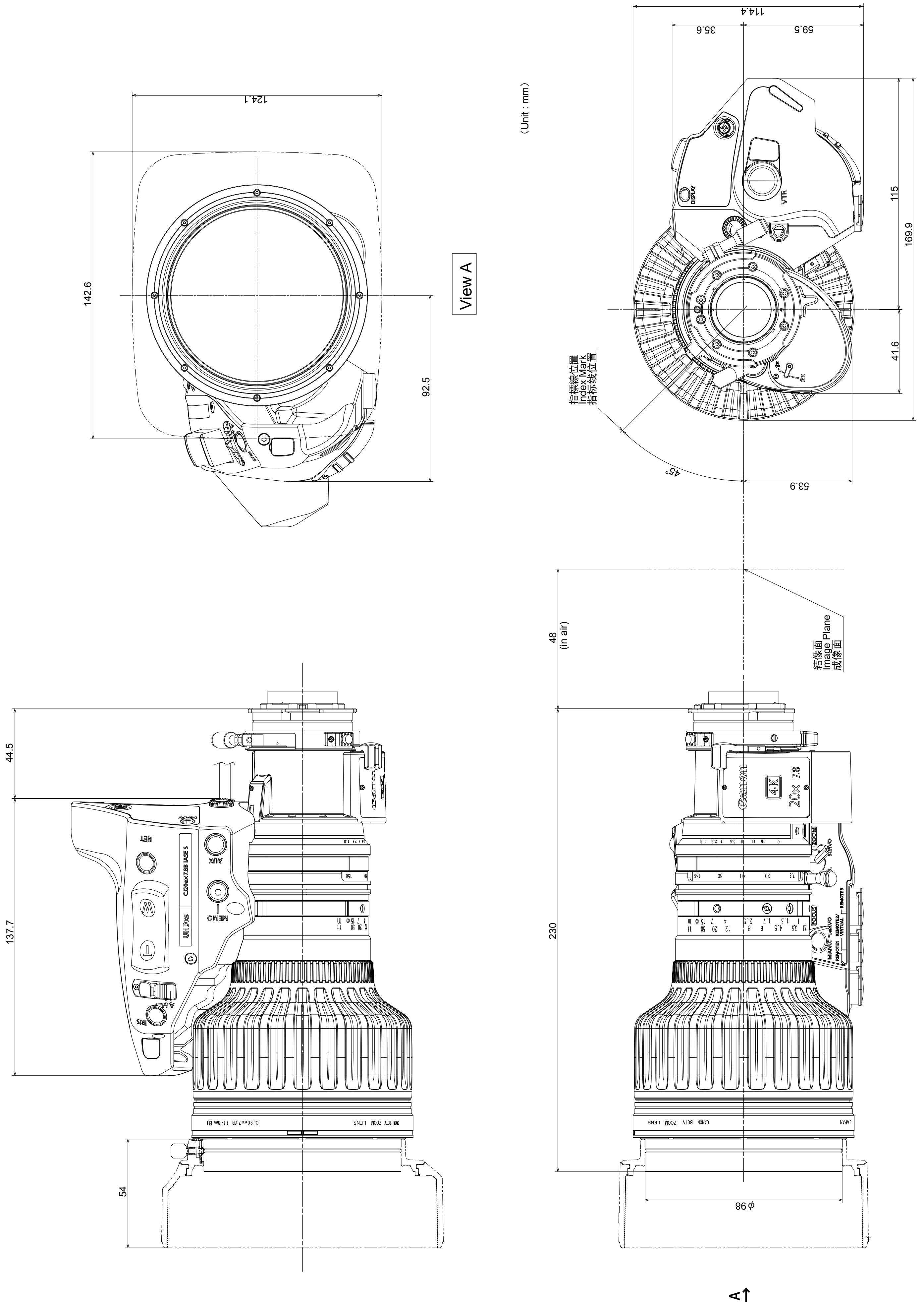
1. CJ15ex4.3B IASE S



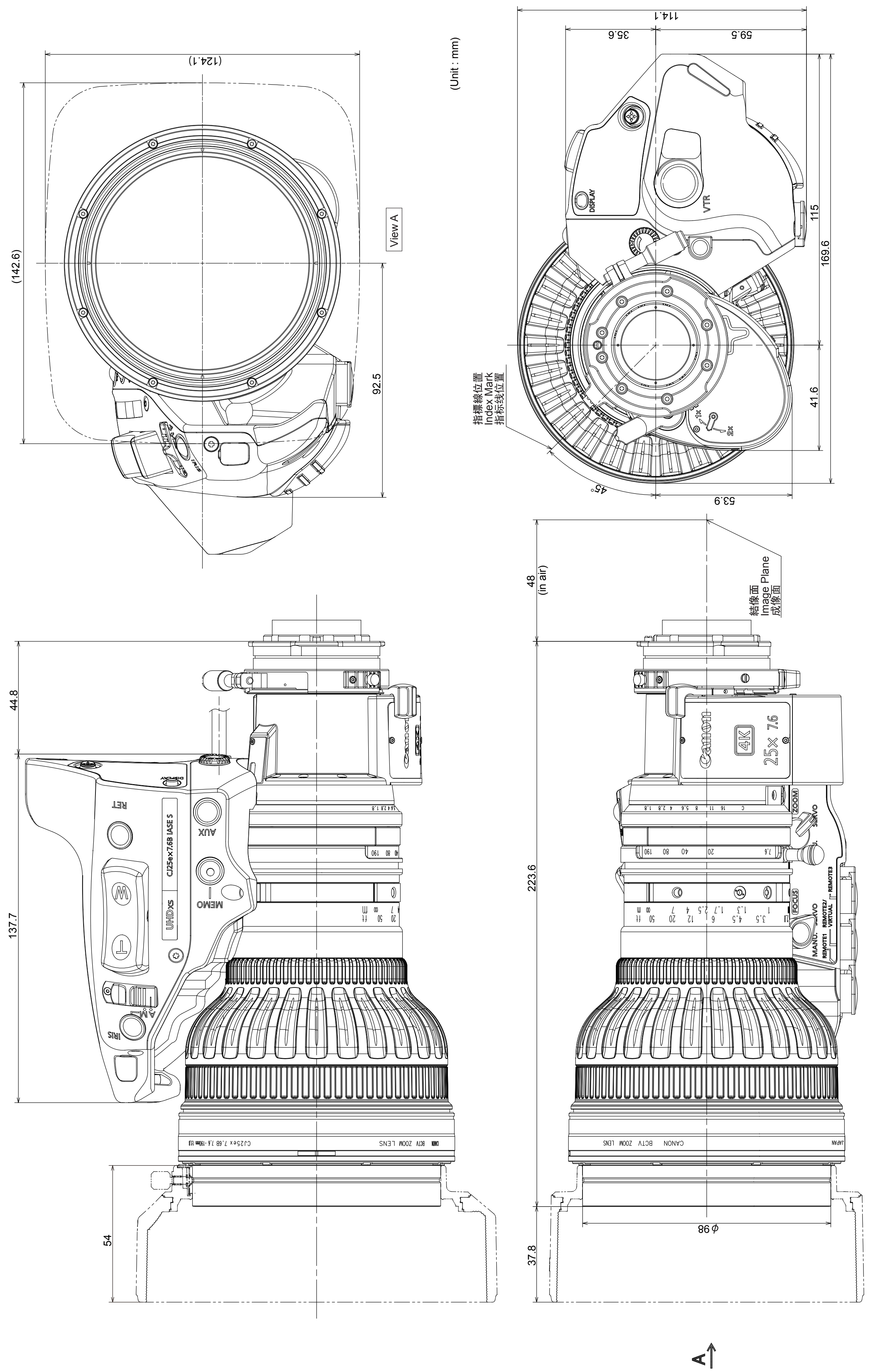
2. CJ20ex5B IASE S



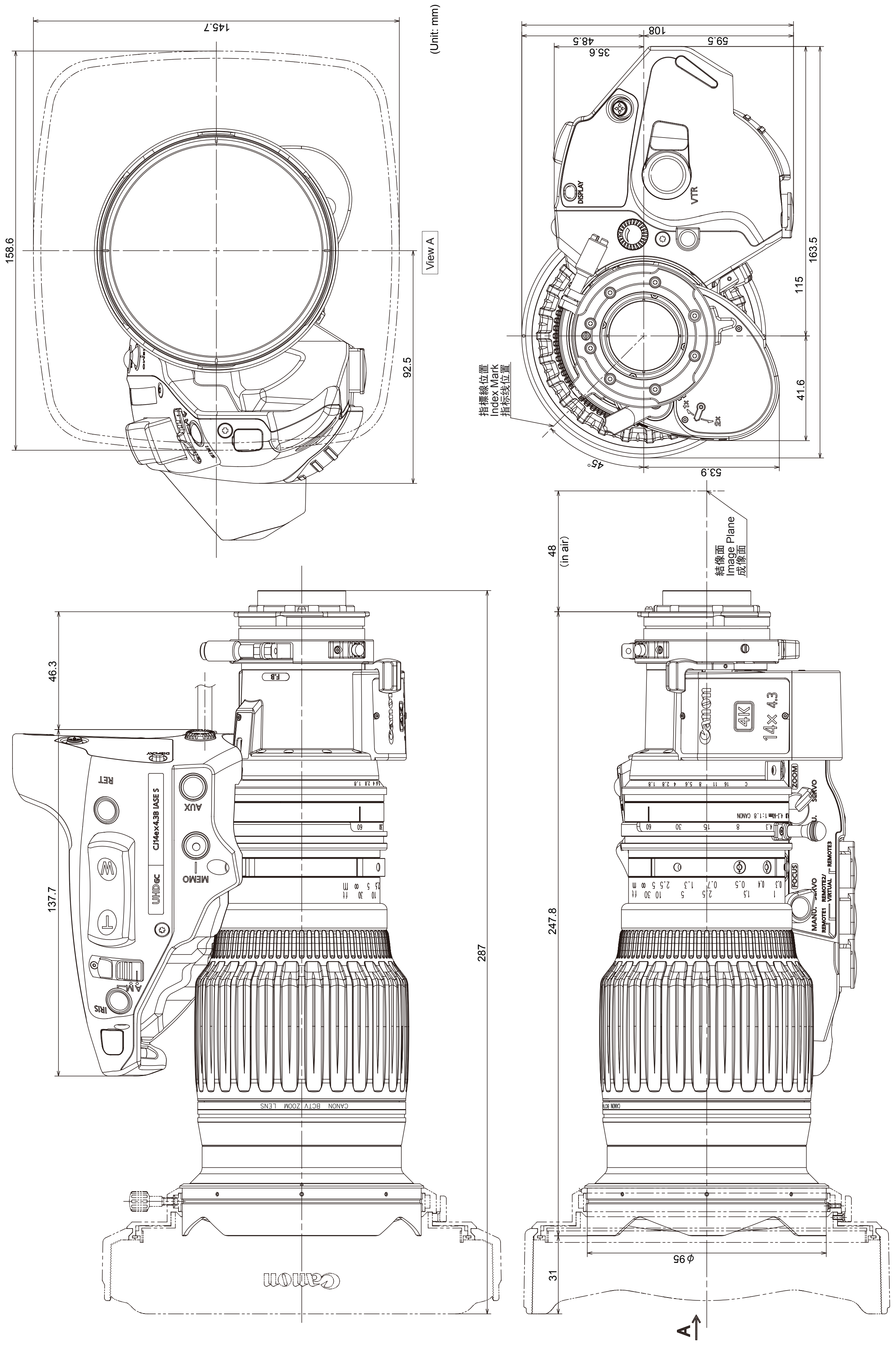
3. CJ20ex7.8B IASE S



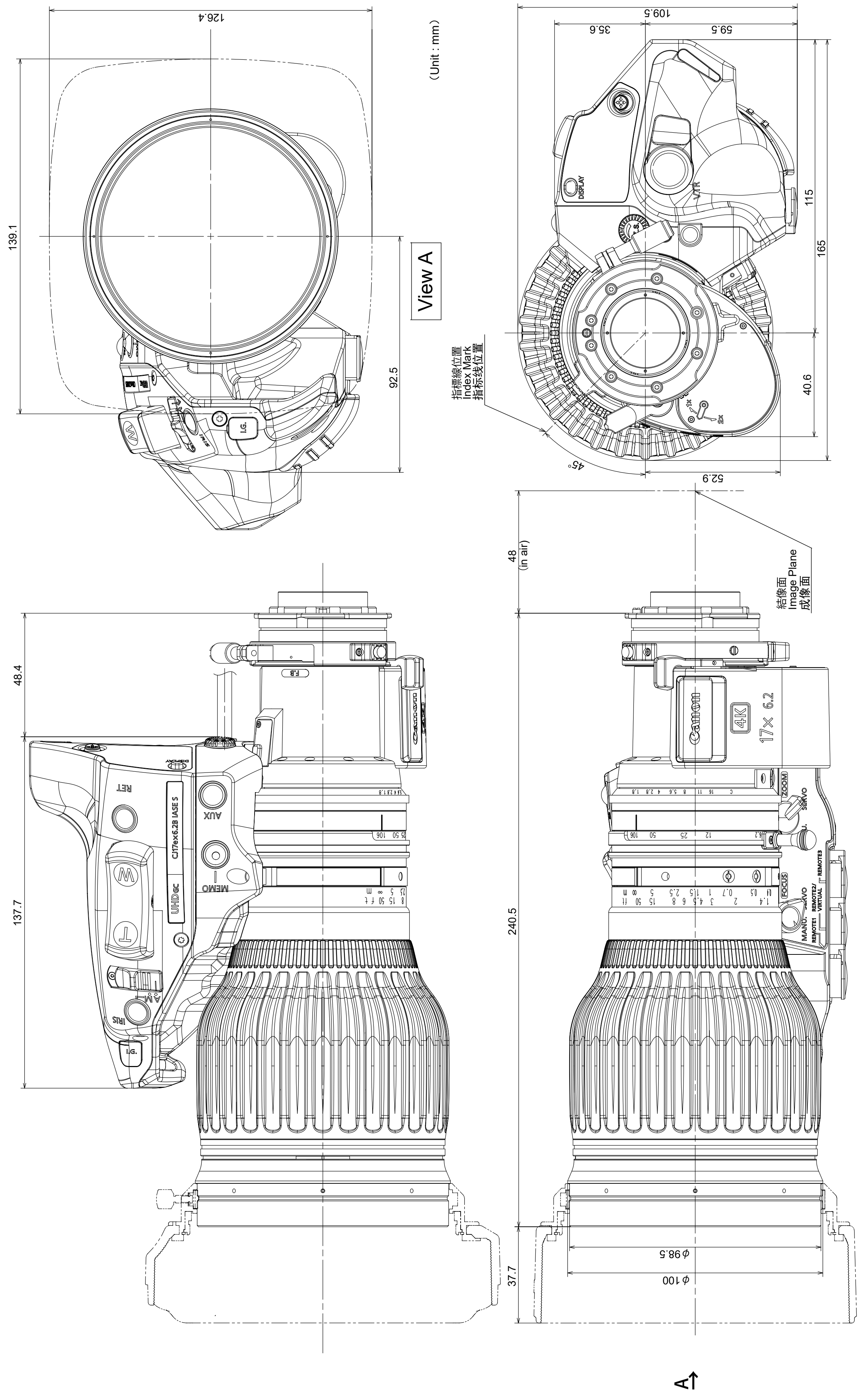
4. CJ25ex7.6B IASE S



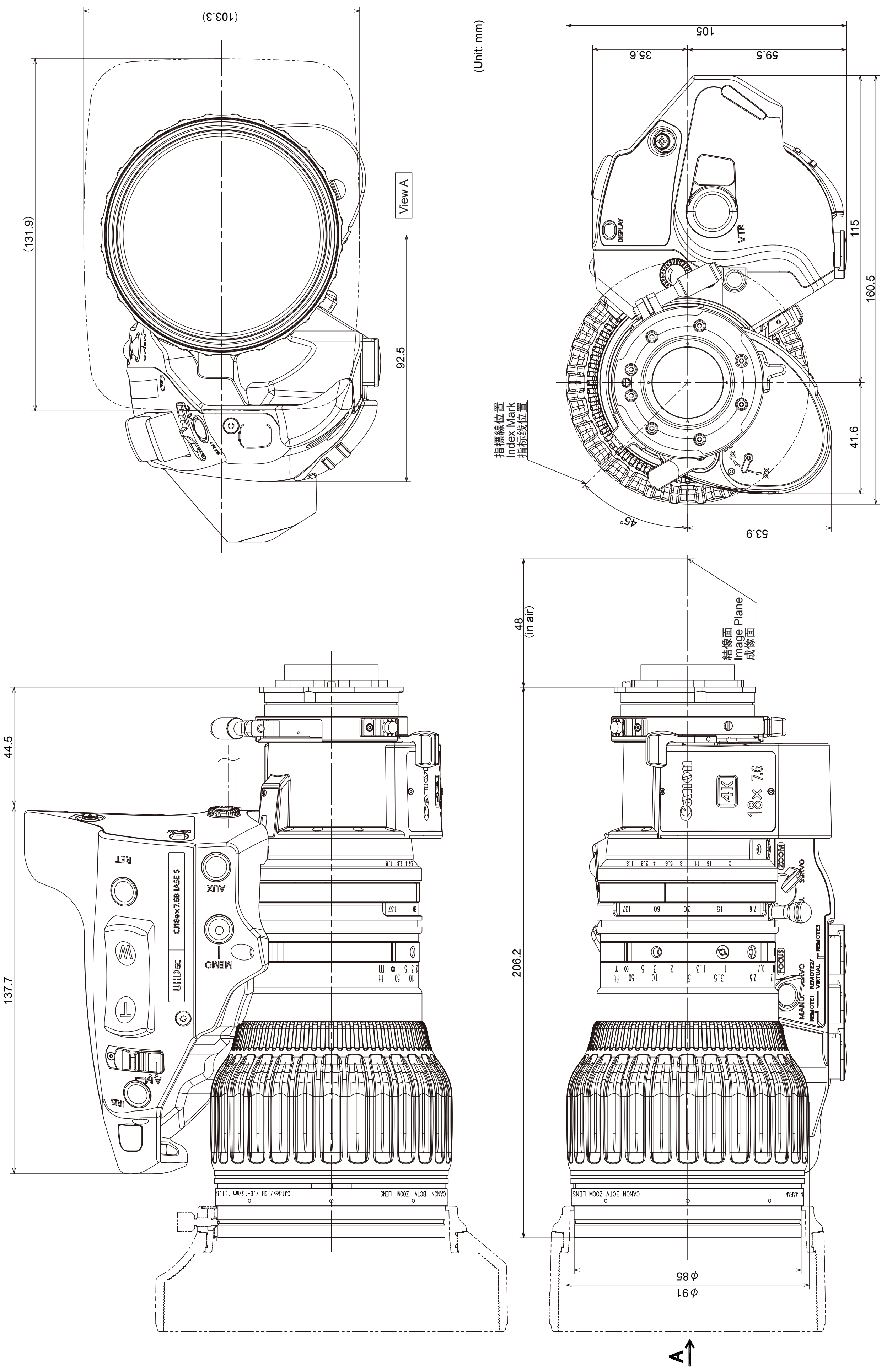
5. CJ14ex4.3B IASE S



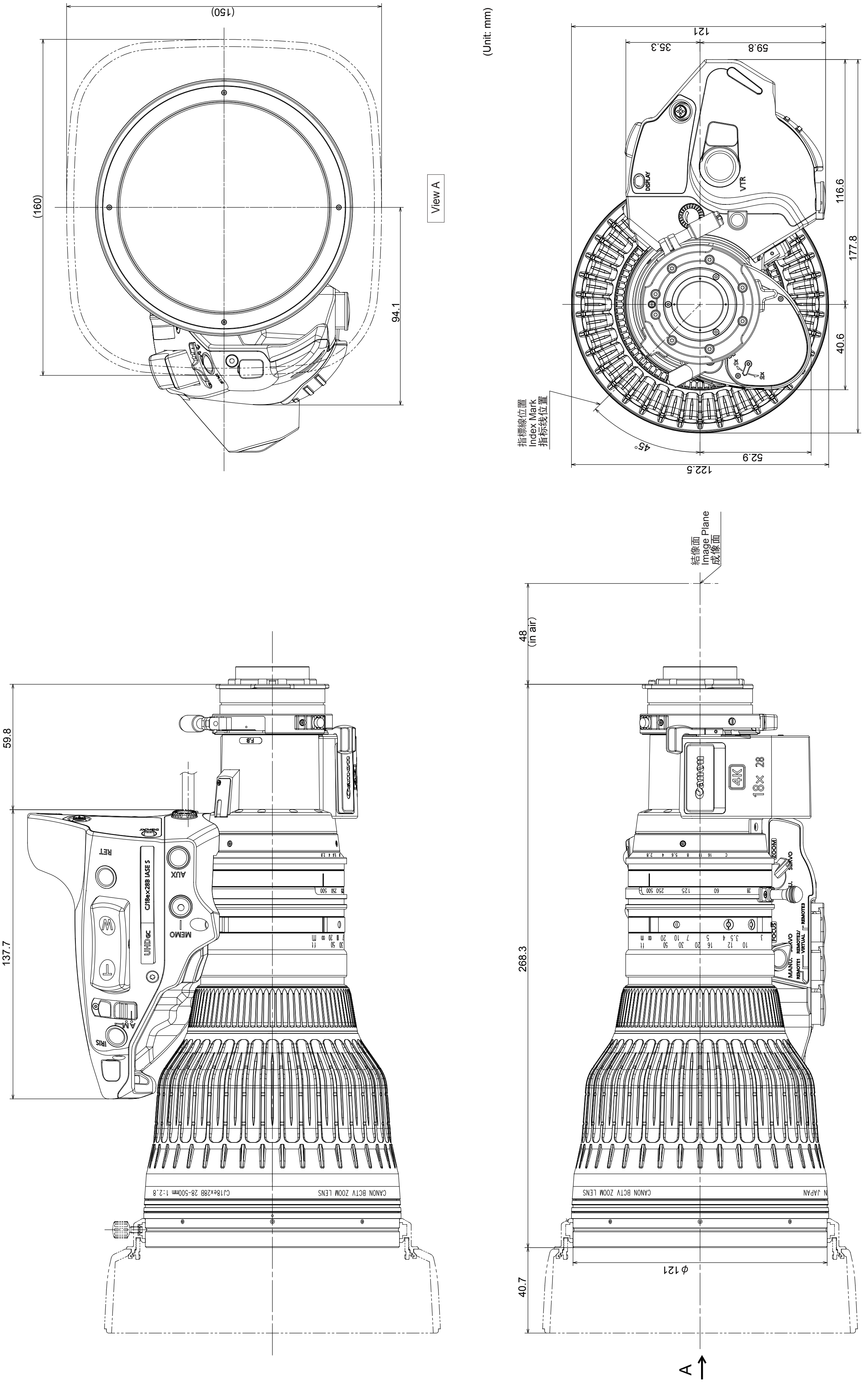
6. CJ17ex6.2B IASE S



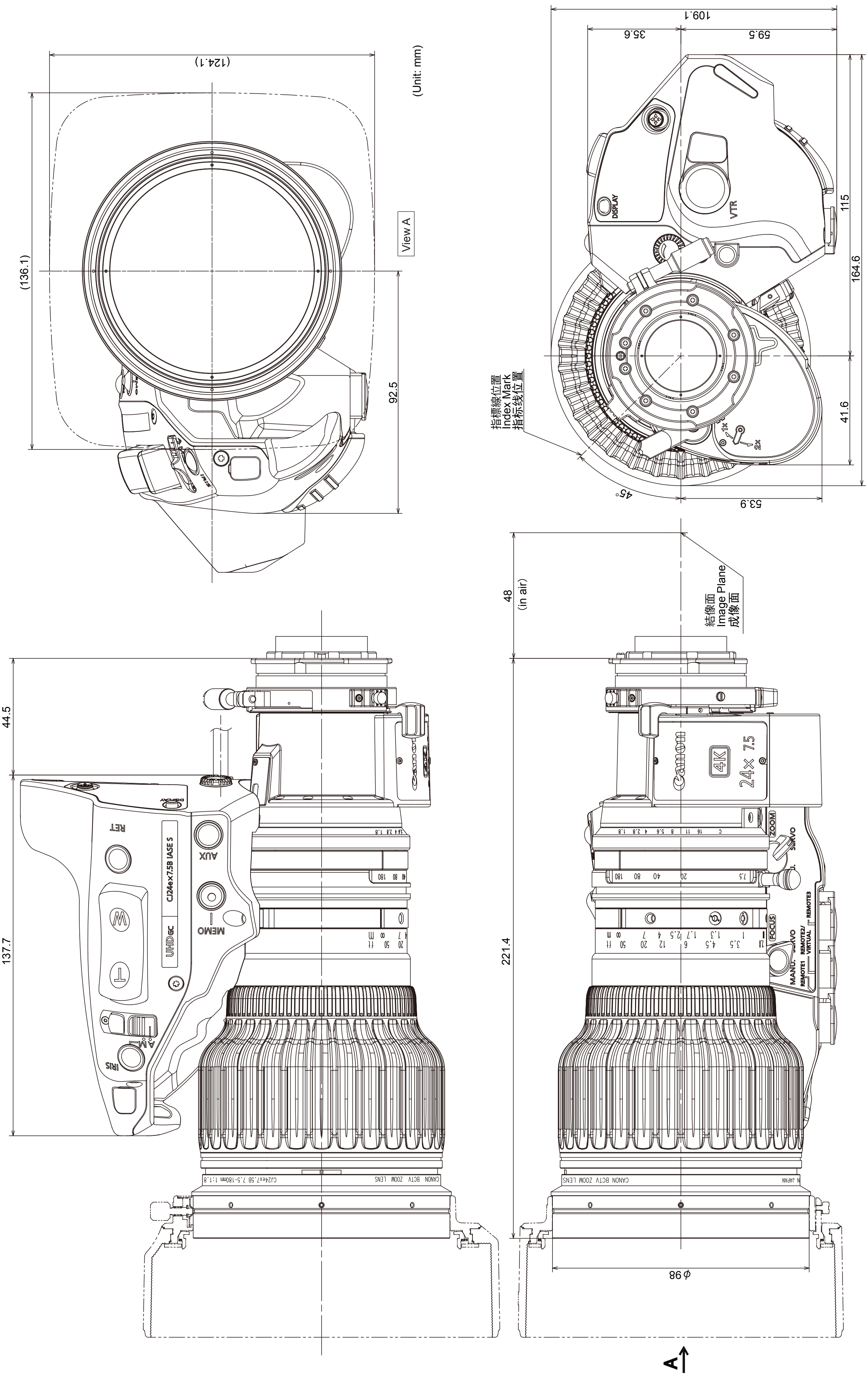
7. CJ18ex7.6B IASE S



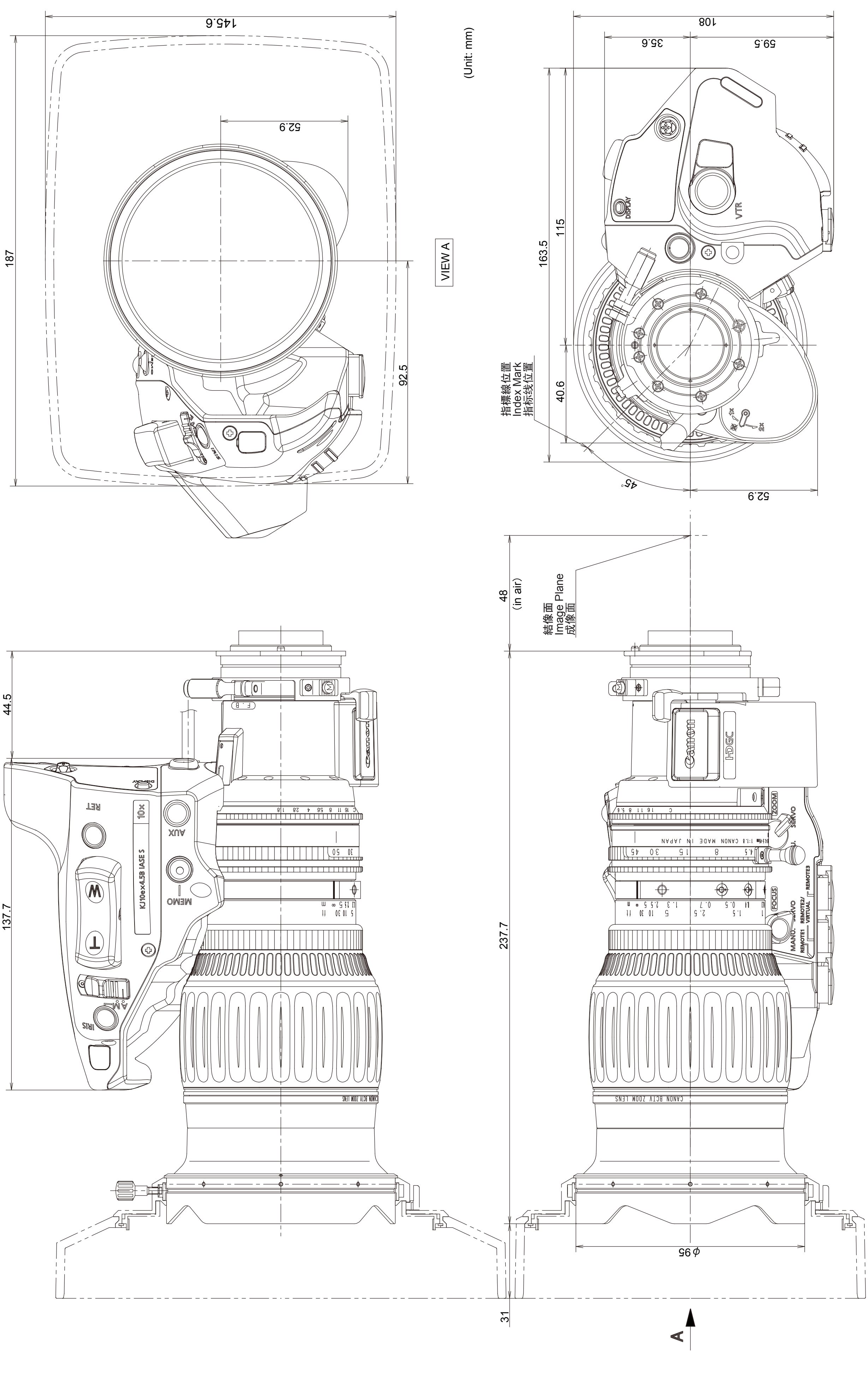
8. CJ18ex28B IASE S



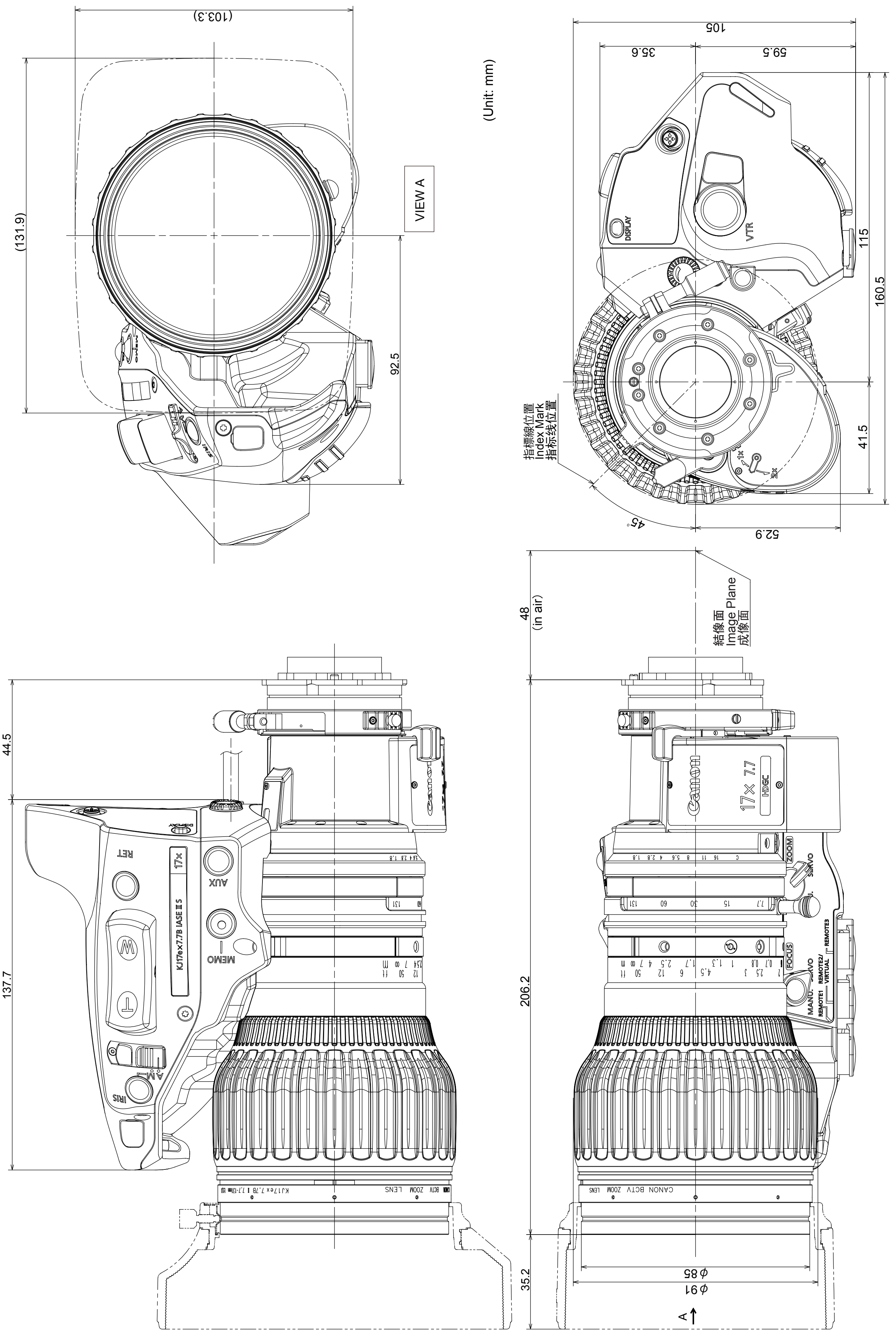
9. CJ24ex7.5B IASE S



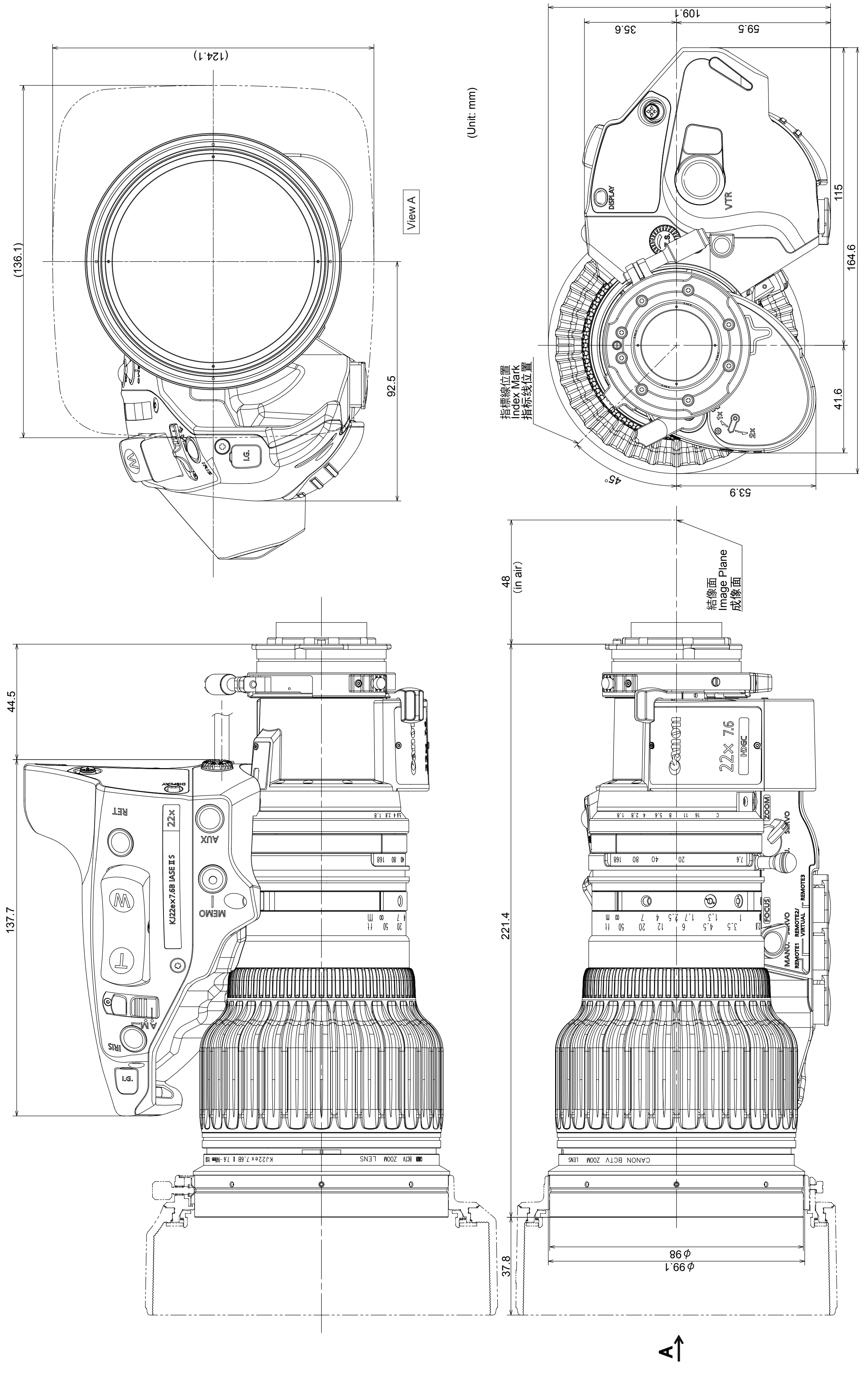
10. KJ10ex4.5B IASE S



11. KJ17ex7.7B IASE II S



12. KJ22ex7.6B IASE II S



キヤノン株式会社
〒 146-8501 東京都大田区下丸子 3-30-2

BT1-D020-A-JPN